

北播磨地域ビジョン 2020

“ひょうごのハートランド”をめざして

交流が広がる

元気な産業が
興る

くらし
生活の絆が
深まる



恵み豊かな環境
が持続する

文化が花開く

平成23年11月

北播磨地域ビジョン委員会

兵庫県北播磨県民局

目 次

1	北播磨地域ビジョンの点検・見直しについて	
(1)	点検・見直しの趣旨	2
(2)	点検・見直しのプロセス	3
(3)	個性豊かな北播磨	4
2	北播磨地域ビジョンの取組とその成果	
(1)	地域ビジョンの将来像	6
(2)	地域ビジョンの推進体制	
(3)	地域ビジョン活動とその実績	7
(4)	地域ビジョンの実現状況	11
3	地域ビジョン策定後の時代潮流の変化	
(1)	人口減少・少子高齢化社会の到来	14
(2)	価値観の多様化	15
(3)	地域の変化	16
(4)	これまでの北播磨の道のり	17
4	北播磨の新たな地域課題	
(1)	時代潮流の変化による新たな地域課題	19
5	北播磨地域の将来像	
(1)	見直しの視点	21
(2)	対象地域と目標時期	
(3)	将来像	
(4)	5つの地域像	23
6	重点的なプログラムの展開	28
7	将来像の実現に向けて	44

1 北播磨地域ビジョンの点検・見直しについて

(1) 点検・見直しの趣旨

「北播磨地域ビジョン」は、2001年（平成13年）2月、住民意識が高まり地域活動が活発化した成熟社会においては、兵庫県の未来は、行政主導型の「計画」ではなく、行政を含めたさまざまな活動主体とのパートナーシップのもと、県民自らが「夢」を描き、その実現に取り組む自律・分権型の「ビジョン」でなければならないとの考えに基づき、県民主役・地域主導のもと策定されました。

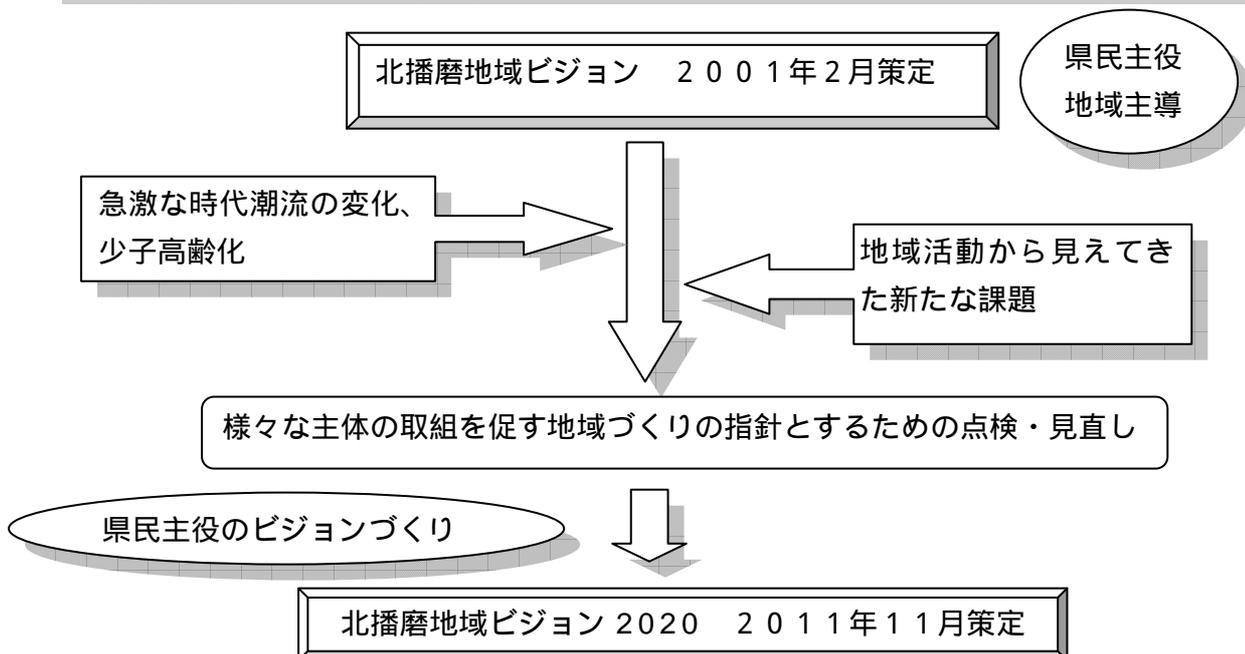
「北播磨地域ビジョン」には、「こんな北播磨地域にしたい」という、私たち自身が描く北播磨地域の「夢」や、その実現に向けた道筋や取組が描かれています。

ビジョン策定から10年が経過しました。この間、少子・高齢化など時代潮流の変化は、ビジョン策定時の想定を上回る早さで変貌しており、これに伴う様々な地域課題が顕在化してきました。

また、個人、グループ、北播磨地域ビジョン委員会、企業、行政など様々な主体が、地域ビジョンがめざす将来像“ひょうごのハートランド”の実現を目指して、地域づくり活動を積み重ねてきました。そして、その活動の中で、目指すべき北播磨の姿や新たに対応すべき課題が次第に明らかになってきました。

これらの時代の変化や新たな課題に迅速・的確に対応するため、地域ビジョンを点検・見直しすることとし、地域夢会議でのご意見やグループへのヒアリング、アンケートなど地域の声をもとに、2040年頃を展望しながら、2020年頃を目標年次とした新しい「北播磨地域ビジョン2020」を策定します。

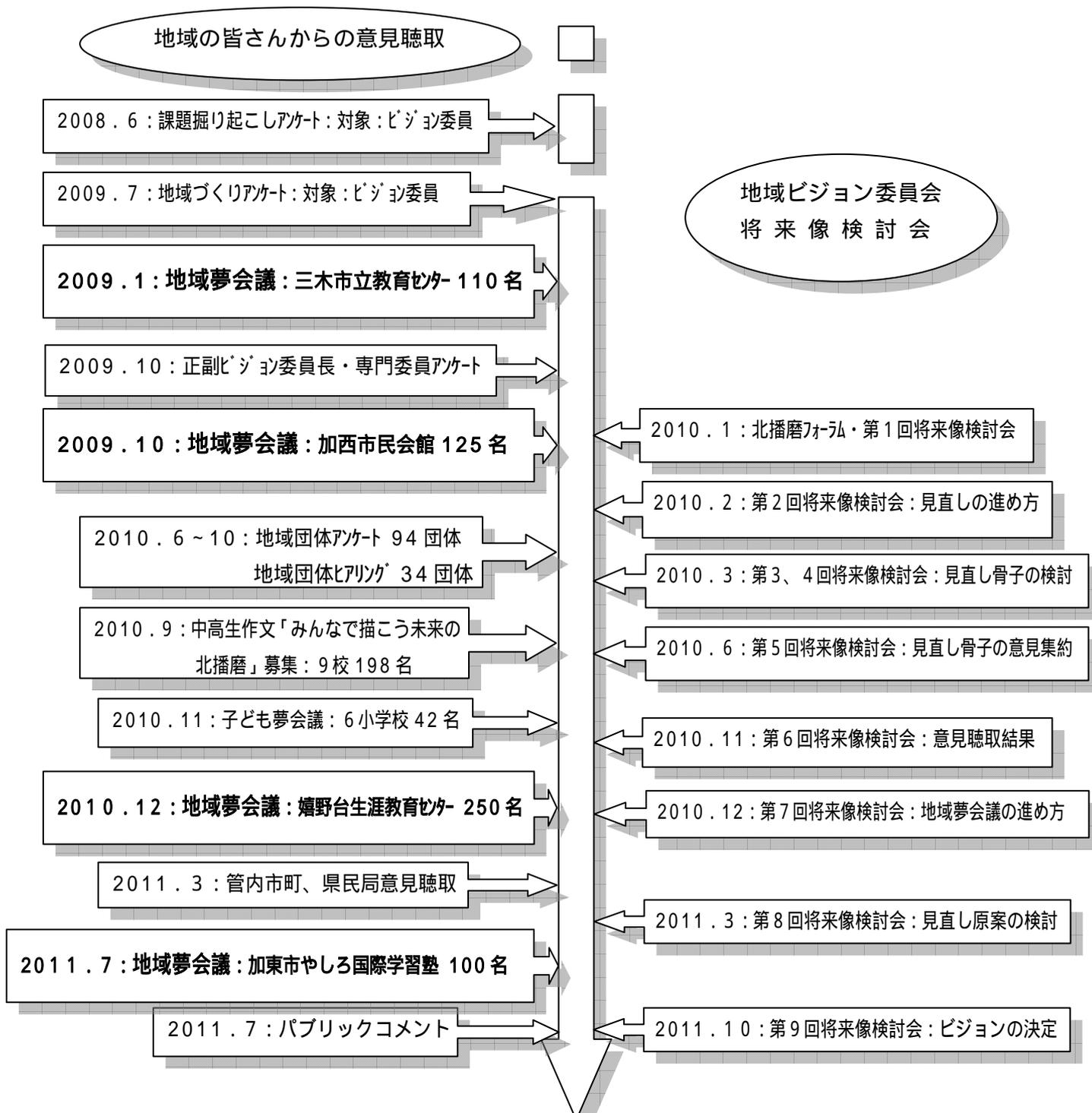
《北播磨地域ビジョンの点検・見直し》



(2) 点検・見直しのプロセス

北播磨地域ビジョン委員会では、地域ビジョンの点検・見直しにあたり、地域の方々が一堂に会し地域の夢や取組について自由かつ達に議論を交わす「地域夢会議」を開催するとともに、地域団体へのヒアリング・アンケート、中高校生からの作文募集、小学生を対象とした「子ども夢会議」など、幅広い世代の方々から多くのご意見をうかがいながら、地域ビジョン委員会に設置した「将来像検討会」において検討を進めてきました。

北播磨地域ビジョン 2001年2月策定



北播磨地域ビジョン2020 2011年11月策定

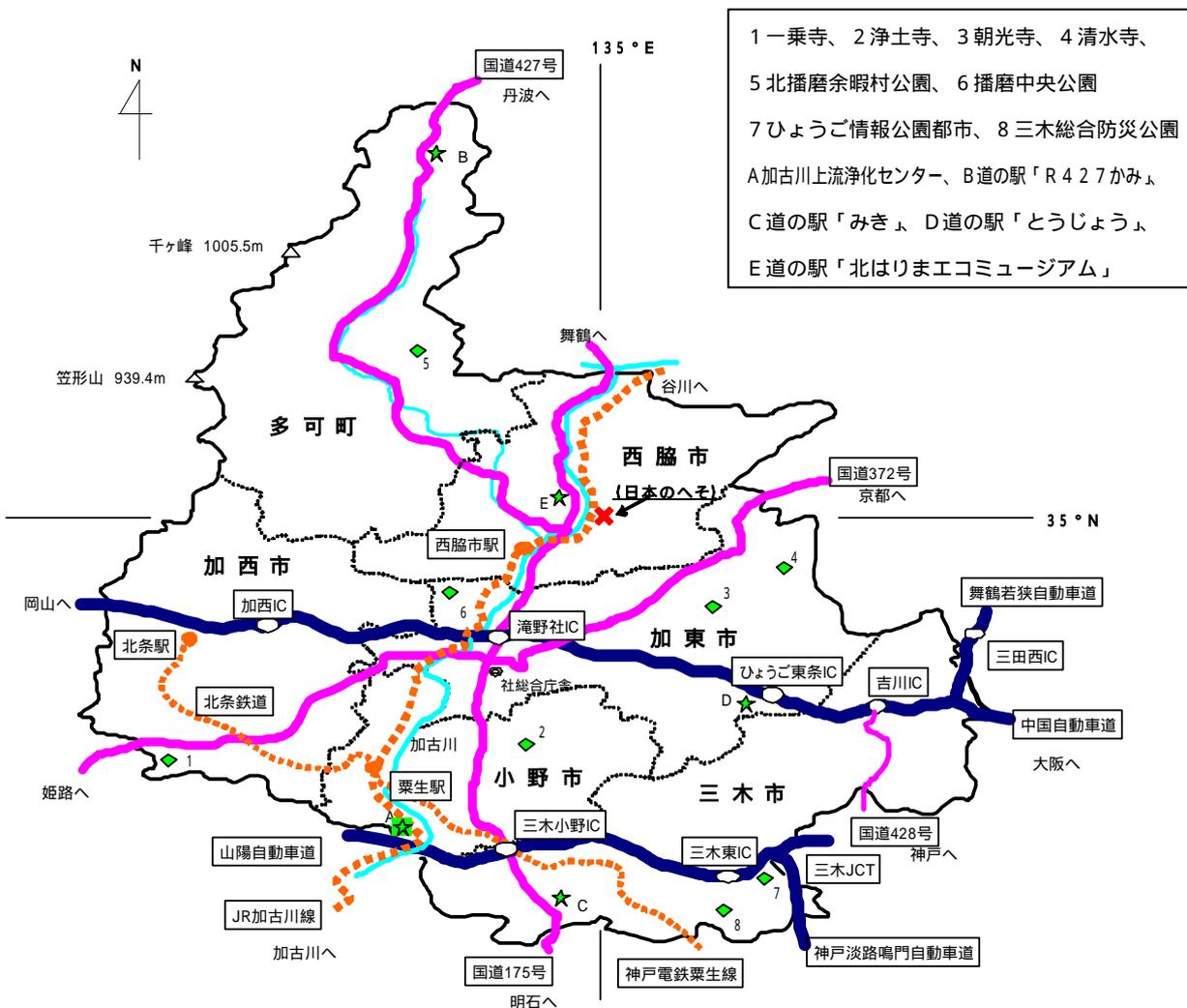
(3) 個性豊かな北播磨

ここでは、北播磨地域ビジョンの点検・見直しを行う前提として、北播磨地域の可能性を挙げています。

「北播磨のいいところは何だろう」「北播磨で育まれてきた資源は何だろう」ということについて、今一度見つめ直し、北播磨の無限の可能性を感じてください。

東へ、西へ、南へ、北へつながる交通の要衝

- ・ 兵庫県のほぼ中心部にあり、総面積は895km²で県土の10.7%
- ・ 東は神戸・阪神地域、西は中播磨地域、南は東播磨地域を経て淡路地域、北は但馬・丹波地域へと多くの地域と接しており、中国自動車道、山陽自動車道、国道175号等を通じて、東西南北の接点となる地域
- ・ JR加古川線、北条鉄道、神戸電鉄粟生線、路線バス、コミュニティバスが運行
- ・ 神戸・阪神地域という大都市圏の通勤・通学圏
- ・ 管内の河川は全て一級河川「加古川」水系で、奇岩の河床に急流が注ぐ闘竜灘や疏水導水管のわたる御坂サイフォン橋など名勝が数多い地域



開放的な地形・温暖な気候

- ・ 県下最大の加古川の中・上流部に位置し、北部の山地、中部の丘陵地、南部の平野と多彩な地形が連なり、全体として川を中心に南へ開けたのびのびとした開放性のある空間
- ・ 瀬戸内型気候で年平均気温約 14℃、年間降水量 1,300 mm 前後、比較的温暖、積雪は北部にわずかに見られる程度

歴史と伝統を有する地場産業が継承

- ・ 三木金物、播州織、播州そろばん、釣針、播州毛鉤、美吉籠、鯉のぼり、ひな人形、山田錦の清酒など、匠の技が生きる伝統工芸が継承

食の楽しみが満載

- ・ 酒米「山田錦」、黒田庄和牛、播州百日どり、ぶどう「ゴールデンベリーA」など全国に誇る農産物を生産
- ・ 地元農作物を生かした巻き寿司、手作りジャム、アイスクリーム、播州ラーメンなど、地域の特徴を生かした「食」が豊富

深い歴史を現在に伝える「宝」が揃う

- ・ 国宝建造物の浄土寺、一乗寺、朝光寺や玉丘古墳など歴史文化財が多く、上鴨川住吉神社の神事舞などの伝統芸能が地域の人々によって伝承

芸術文化が育まれる

- ・ 西脇市岡之山美術館や三木市立堀光美術館などの施設のほか、エクラホール、ベルディーホール、コスミックホールなど、住民の文化活動の拠点が整備
- ・ 東播磨文化団体連合会などの各種の文化団体が、相互の緊密な連携のもとに地域の芸術文化を振興

豊かな自然に気軽とふれあえる、体験できる、遊べる

- ・ 北播磨のあちらこちらに家族でふれあえる体験型施設、公園などの施設が充実
- ・ 数々の温泉が湧く名湯の地でゆったりリフレッシュ

2 北播磨地域ビジョンの取組とその成果

(1) 地域ビジョンの将来像

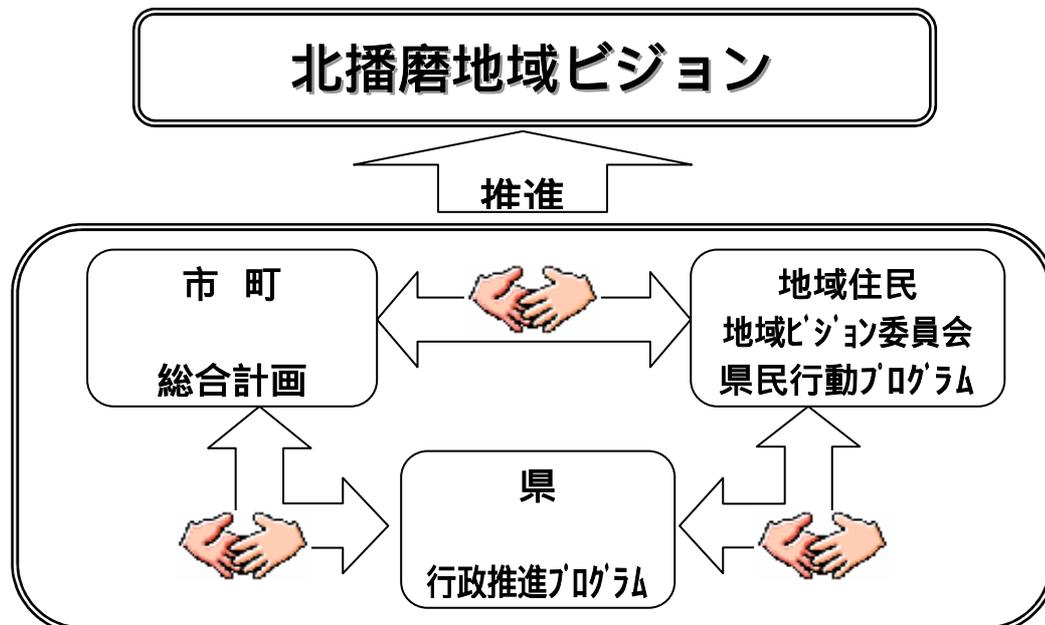
「10年先も、そしていつまでも、北播磨地域が輝いてほしい」-北播磨地域ビジョンでは、輝く北播磨地域を実現していくための道筋や取り組みを明らかにしていくための合い言葉を「ひょうごのハートランド」と設定し、これを実現していくため、取り組みの方向性を「4つの願い・4つの目標」として提案しました。

ひょうごのハートランドー4つの願い・4つの目標ー

だれにも“心地いい”ハートランド 小さな単位から始まる、安全・安心のあたたかいささえあい地域を実現しよう	いつも“楽しい”ハートランド 人が育ち、だれもが自分らしさを選択する自分創造地域を実現しよう
いつまでも“美しい”ハートランド 水と緑を守り、活かし、伝える循環型地域を実現しよう	どこよりも“力強い”ハートランド 新しい豊かさと活力を生み出す産業元気地域を実現しよう

(2) 地域ビジョンの推進体制

北播磨地域ビジョンの実現に向けて、「参画と協働」の理念のもとに、北播磨地域の資源と特性を活かした取組を示す「北播磨地域ビジョン推進プログラム」を平成14年度に策定、平成18年度に改訂し、北播磨地域ビジョン委員会、地域住民、県、市町が具体的な実践活動に取り組んできました。



地域行政推進プログラム：北播磨県民局が、北播磨地域の経営にあたっての基本方針、主体的に実施していく主要な施策・事業

県民行動プログラム：地域ビジョン委員会、地域住民、団体、企業などが、具体的に取り組んでいく実践活動

(3) 地域ビジョン活動とその実績

「ひょうごのハートランド」の実現に向けて、地域からの公募委員で構成された北播磨地域ビジョン委員会を中心に、地域住民、団体、企業、行政などが参画と協働のもと「北播磨地域ビジョン推進プログラム」に基づく実践活動を着実に展開してきました。これまでの10年間の活動実績は、次のとおりです。

上段：地域行政推進プログラム
下段：県民行動プログラム

将来像	取組と実績 (平成22年度末現在)
<p>だれにも“心地いい”ハートランド</p> <p>小さな単位から始まる、安全・安心のあたたかいささえあい地域を実現しよう</p>	<p>自立とささえあいによる健康な暮らしを育む地域</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康ひょうご21大作戦 推進員：227名 実践講座：9回 349人 感染症等予防対策事業 罹患率：22.4%に低下 スクールカウンセラー配置事業 管内26中学校・6小学校に配置 「命の教育」の推進 命の教育講演会と心肺蘇生・AED実技講習会 中学生受講者：25,896人 <p>安心して産み、育てることができる地域</p> <ul style="list-style-type: none"> 少子化対策推進事業 啓発冊子・パンフレット配布 児童虐待防止事業 親と子の健康づくり個別相談・集団指導：のべ482人 <p>生活者の視点にたった安全な地域</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害に強い山地・山村づくり 整備目標61%に対して53.8%進捗 三木総合防災公園整備事業 平成22年5月：整備完了 広域河川改修事業 加古川、野間川、東条川等の護岸工事や用地買収を進めている。 <p>本当に必要なサービスが誰にでも利用しやすい地域</p> <ul style="list-style-type: none"> 保健医療計画 地域推進本部を設置し、健康ひょうご21大作戦の目標達成 老人福祉施設等整備事業 順調に推移。グループホームは市町交付金で整備 <p>ささえあいネットワークを育む地域</p> <ul style="list-style-type: none"> こころ豊かな美しい北播磨推進会議の運営 実践推進大会の開催、地域づくり活動応援事業：H15～325団体の活動支援の実施、情報誌の発行、地域づくり活動サポーターの設置(12名) 北はりま絆プロジェクトの推進 北はりま絆ひろば事業の展開、絆を深める月間事業等の推進
<p>いつも“楽しい”ハートランド</p> <p>人が育ち、だれもが自分らしさを選択する自分創造地域を実現しよう</p>	<p>自分発見のゆとりときっかけを持てる地域</p> <ul style="list-style-type: none"> 播磨中央公園整備事業 平成17年3月：第1期区域整備完了 三木総合防災公園整備事業 平成22年5月：整備完了 <p>それぞれの生き方を尊重しあう地域</p> <ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画の推進 第5期北播磨男女共同参画推進員設置：21名 こころ豊かな人づくり500人委員会 北播磨委員：33名OB会：180名 女性にも住みやすい「ハートランド」をめざして H14～18参画研究会等開催：73人

	<p><u>自分を活かす舞台が見つかる地域</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツクラブ21ひょうご 管内57クラブ設立 <p><u>夢ふくらむ子ども世界を築く地域</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・トライやる・ウィーク H22 参加生徒数 2,789人 活動場所 955ヶ所、指導ボランティア 986人 ・地域子どもの日をつくろう H14～三世代交流・創作体験：6,599人 ・チームあいあい子ども夢プラン H17～子ども体験イベント：889人 <p><u>新しい出会いの舞台となる地域</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・北播磨 1500万人交流大作戦の展開 463万人の増加、H13:947万人 H21:1,410万人 ・交流の舞台づくり「北播磨交流の祭典～きらっと北播磨 交流大舞台 2005」 23万人の来場を得て開催 ・ちょっと素敵な北バーン創造委員会 H17～：1,127人 ・よさこいを活かした地域交流 H19～：193人 ・歩いて見ようよ 北はりま H14～ふれあいウォーキング、ウォーキングマップ：600人 ・北バーン！創祭り H14～17 祭事記録書作成：41人 <p><u>つたえあいネットワークが広がる地域</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・北はりま田園空間博物館整備 200を超えるサテライトを設置し、インタープリターなどを養成するなど全国でも先進的な取り組みを進めている。来場者：年間30万人 ・ひょうご型市民農園の整備・農業体験推進事業 26ヶ所の市民農園を整備
<p>いつまでも“美しい”ハートランド</p> <p>水と緑を守り、活かし、伝える循環型地域を実現しよう</p>	<p><u>自然に触れ、体感できる地域</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・やしろの森公園、なか・やちよの森公園の整備 ・北はりまの自然を生かした活動 H19～トレッキングコース整備：25名 <p><u>自然を育む循環型ライフスタイルが確立した地域</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・森のゼロエミッションの推進 木質バイオマスエネルギー導入推進シンポジウム開催支援 ・堆肥の地域内流通システム確立事業 北播磨地域土づくりフォーラムの開催、家畜排泄物法の施行に伴い、処理施設未整備農家への指導強化 ・生活排水対策の推進 北播磨地域生活排水対策推進委員会を設置し、事業計画エリア毎の整備を推進。達成率：98.5%（平成21年度） <p><u>自然が生きる美しい環境が広がる地域</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山ふれあい森づくり事業 西脇市、小野市、加西市、多可町、計291ha <p><u>パートナーシップで新しい知恵を生み出す地域</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑化事業（緑のパトロール隊、緑の協力員） 自主的な活動団体の組織化も活発化、ひょうごアドプト（沿道緑化など）：66団体 ・環境学習・教育の推進 加古川流域が一体となって、森・川・海の再生を図るため、加古川流域交流フォーラムや体験型環境学習会を開催

	<p>ひょうごっこグリーンガーデン事業を支援、ひょうごグリーンサポーター94名、環境情報誌「ハリーン通信」を発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化防止活動の推進 北播磨地域地球温暖化防止活動推進員19名、エコフェスティバル等の開催 ・産業廃棄物不適正処理対策の推進 不法投棄未然防止モデル地区や未然防止協力事業所の指定、人工衛星画像を活用した監視、県・市・県警等関係機関の密接な連携 <p>ごみ2割減量北はりま大作戦 ごみ2割減量北はりま大作戦推進会議の設置、フォーラム、セミナー等の開催、ごみ減量・資源化モデル事業所の指定、事業系一般廃棄物減量の手引き作成</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・街づくりダイエット推進会議 H14～BDFデモ走行、廃食油回収、菜花栽培運動：280人 ・生活創造グループ「遊友会」(環境) H21～：355人 ・生活創造グループ「花福会」(緑化景観) H21～：256人
<p>どこよりも“力強い”ハートランド</p> <p>新しい豊かさと活力を生み出す産業元気地域を実現しよう</p>	<p>生活を豊かにする新しいビジネスを生み出す地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティビジネスの創出 地域共生ビジネス離陸事業 農業関係3グループを支援 ・北播磨地域中小企業支援センターの運営 相談件数：393件 創業3件 経営革新6件 ・企業立地の促進 北播磨地域企業促進会議の開催、企業立地フォローアップ事業 訪問企業：14社 平成20年度：企業立地県下1位 ・労働相談・しごと情報広場の設置 労働相談件数：122名、Uターン登録者：63名、しごと広場利用者：一般143名、学生73名、キャリアカウンセリング86名 <p>人と環境に優しい経済活動の先進地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山田錦の館整備事業 平成16年4月オープン、同年12月に入場者26万人 ・北播磨アグリビジネス支援事業 アグリビジネスネットワーク活動 研修：3回、158名 食と農のフォーラム274名、北播磨の食文化を語る500名、農産加工グループ54団体 ・北播磨じばさん元気市 H14～21年度：47万人 <p>「ものづくり再生」のモデル地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・播州織 デザインプロジェクト <p>「交流産業」が新たに展開する地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北播磨1500万人交流大作戦の展開 阪神間のミニコミ紙面購入、AM神戸で県民局や市町事業を放送、交流キャンペーン、まるごと北はりま展、北はりまステーション設置 ・北播磨地域ツーリズム振興事業 観光ボランティアの育成、魅力再発見フ

	<p>オーラム、おもてなしキャンペーン、食のツーリズム、国宝めぐりツアー盛況</p> <p><交流の基盤づくり></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JR加古川線の電化・高速化 平成16年12月19日開業 ・ 東播磨南北道路の整備促進 一部供用を開始 ・ JR加古川線沿線活性化の推進 9駅を改築し、コミュニティ施設や駅前広場を整備 ・ 北播磨ハイランド・ふるさと街道の整備 丹波加美線等の整備を推進 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・ JR加古川線沿線駅を交流の場に H14～：75人
--	--

また、現在、第5期北播磨地域ビジョン委員においては、次の実践活動を展開しています。

将来像	グループ	主な取組内容
だれにも“心地いい” ハートランド	心肺蘇生を普及させ「命の教育」を推進していこう	・命の大切さを考える“命の教育”講演会及び心肺蘇生法・AED実技講習会を開催
	ちょっと素敵な北バーン創造委員会	・若者の地域づくりへの参画を促進 ・地域夢会議を企画・運営
	食べ物と健康	・毎月1回、「食べ物と健康」についての勉強会を開催 ・「正しい食と命」について、地域住民へ情報提供・提案を検討
いつも“楽しい” ハートランド	地域子どもの日をつくろう	・地域の公民館や商店街と協働した三世代交流イベントを展開
	チームあいあい 子ども夢プラン	・どろん子サッカーなど子どもたちが考えた体験イベントを実施
	よさこいを活かした地域交流	・小学生や地域グループへ「よさこい」を指導 ・お祭りや交流イベントへ参加し、「よさこい」を通じた地域との交流を推進
	昔遊びを活用した環境学習生活創造グループ「遊友会」	・環境紙芝居を製作し、子どもたちに環境の大切さを啓発 ・折り紙、竹細工など昔遊びを子どもたちに
いつまでも“美しい” ハートランド	地域の景観づくりを通じた交流生活創造グループ「花福会」	・地域への四季の花の植栽による景観づくりとともに、活動を通じた小規模作業所やデイサービス利用者との交流を推進
	歩いて見ようよ 北はりま	・地域の魅力の再発見や健康増進に向けたウォーキングマップを作製 ・家庭、地域、生活の絆を深める「親子ふれあいウォーキング」を開催

どこよりも“力強い” ハートランド	J R 加古川線沿線駅を交流の 場に	・ JR 加古川線沿線の駅が地域の玄関にふさわしく、地域住民の交流の場となるよう、駅や周辺の整備、朝市の開催等に参加
	街づくりダイエツ推進会議	・ 資源の循環サイクルの確立をめざし、BDF を活用した公用車デモ走行及び「一人一畝菜の花栽培運動」を推進

(4) 地域ビジョンの実現状況

北播磨地域ビジョン委員、同OBによる評価（2009年8月アンケート：77件）

ビジョンの実現に向け、これまで、各地域で様々な取組が展開されてきました。そうした取組の中で、北播磨地域ビジョン委員、同OBがビジョンの実現状況についてどのように感じておられるのかアンケート調査を実施しました。

社会に対する評価について

- ・ 約半数の人が10年前と比べて地域の暮らしが全体として良くなったと感じている。
- ・ 約8割が地域への誇り・愛着を持ち、これからも住み続けたいと思っている一方で、若者が希望を持てる地域と思う人の割合は低い。

(%)

	アンケート内容	北播磨	全県
1	地域の暮らしが10年前と比べて全体として良くなっていると思う人の割合	51.9	48.3
2	今住んでいるところにこれからも住み続けたいと思う人の割合	81.8	88.0
3	住んでいる地域に誇りや愛着を感じている人の割合	77.9	79.2
4	地域の行事によく参加する人の割合	92.2	88.1
5	今住んでいる地域が「若者が希望を持てる地域」だと思う人の割合	20.8	27.1

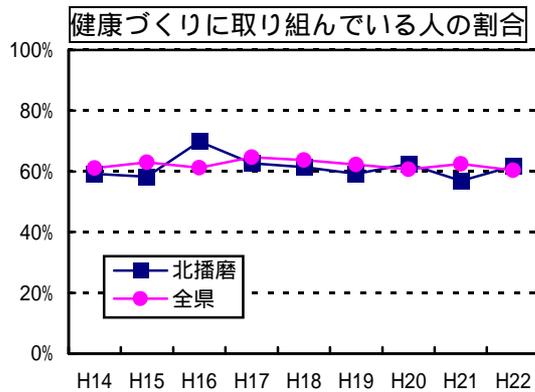
ビジョンの実現状況について

- ・ 地域ビジョンの実現状況については46%で、全県より10ポイント高い。
- ・ 各項目の実現状況は、概ね全県を上回っている。
- ・ 特に、「循環型社会が実現されていると思う人の割合」については65%（全県比14ポイント高）と高く、取組効果が認められる。
- ・ 「創造的な働き方ができる社会」、「新しいしごとにチャレンジできる社会」については、10%前後と大幅に低い。

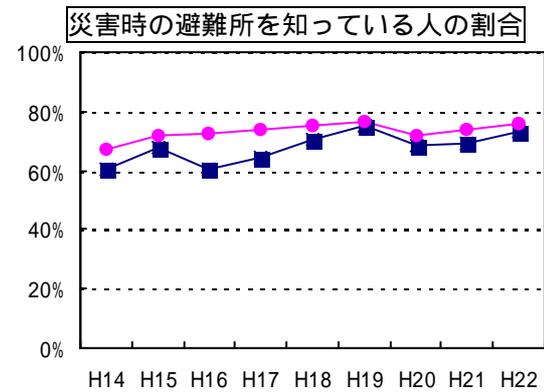
(%)

	アンケート内容	北播磨	全県
	住んでいる地域の地域ビジョンが掲げる目標が実現しつつあると思う人の割合	46.3	36.7
心地よい	学校や地域ぐるみの子育ての輪が広がるとともに、兵庫らしい学校教育が展開され、多様な学びと活躍の場が整うなど『個人の能力や可能性が最大限に発揮できる社会』が実現していると思う人の割合	40.3	30.1
	保健、福祉、医療が充実し、食や防災、防犯などの安全安心が確保されるなど『健康で安心して暮らせる社会』が実現していると思う人の割合	46.8	37.7
	災害に強い防災基盤や、誰もが利用しやすく安心して活動できるユニバーサルなまちづくりなど『まちの暮らしにふれあいや安らぎがある社会』が実現していると思う人の割合	34.2	31.1
楽しい	文化活動やボランティア等の地域活動に取り組むなど『一人ひとりが主体的に行動している社会』が実現していると思う人の割合	41.6	38.9
美しい	コウノトリの野生復帰をはじめとする自然の再生や地球環境の保全など『人と自然が調和した健康で快適な「共生と循環」の社会』が実現していると思う人の割合	49.4	42.6
	環境学習やリサイクルの取り組みなど『循環に即した生活・経済活動が確立した社会』が実現していると思う人の割合	64.9	50.9
	自然エネルギーの利用や建物や道路の緑化等のヒートアイランド対策など『循環を促すさまざまなしくみが整った社会』が実現していると思う人の割合	24.7	20.7
力強い	きめ細かな職業紹介などを通じて一人ひとりが自分の価値観にあった働き方ができる『創造的な働き方ができる社会』が実現していると思う人の割合	9.1	8.1
	環境や子育てなど生活ニーズにきめ細かく対応するしごとが生まれ、起業支援の仕組みが確立するなど『新しいしごとにチャレンジできる社会』が実現していると思う人の割合	14.3	11.4
	活気ある商店街や売れるものづくりが進むとともに、安全安心で競争力を持つ地域のブランド農産物があるなど『多様なしごとが地域の活力を育てる社会』は実現していると思う人の割合	31.6	18.4
	都市と農村などの間で多彩な交流が広がり、海外との国際交流も進む『個性豊かな都市やまちから世界へと交流が広がる社会』が実現していると思う人の割合	31.2	25.2
	道路や鉄道などの交通網整備や、渋滞交差点の解消など「つかう」取り組みによる『交流を育む基盤としくみが整った社会』が実現していると思う人の割合	31.2	36.0

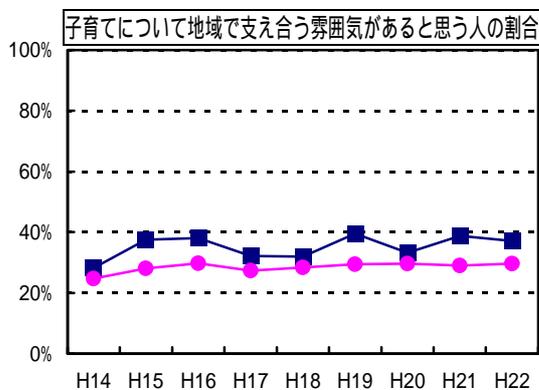
「美しい兵庫指標」県民意識調査（県民アンケート）による評価（毎年実施：500件）
 地域社会の様々な課題に関する県民の意識や行動を直接把握するため、「美しい兵庫指標」
 県民意識調査（県民アンケート）を、平成14年度から毎年度実施しています。



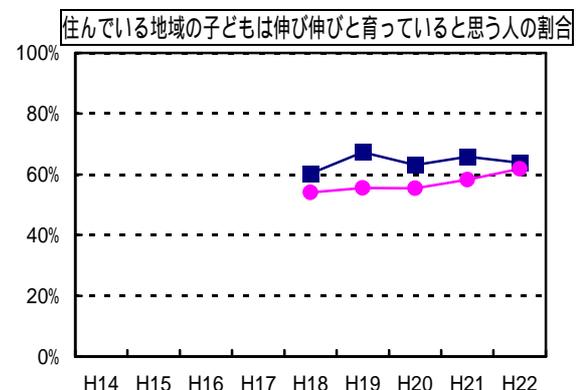
・当初、増加傾向にあったが、近年は伸び悩み。



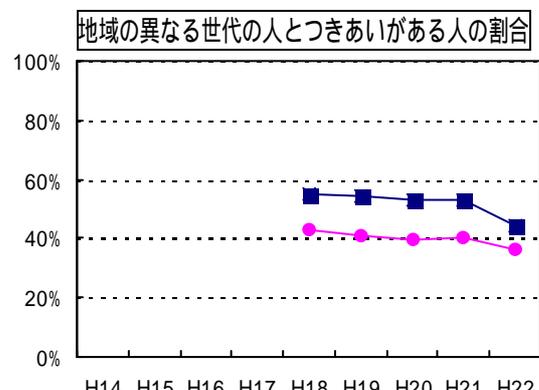
・H16 大洪水を契機に増加傾向。H14 比 13 ポイントアップ



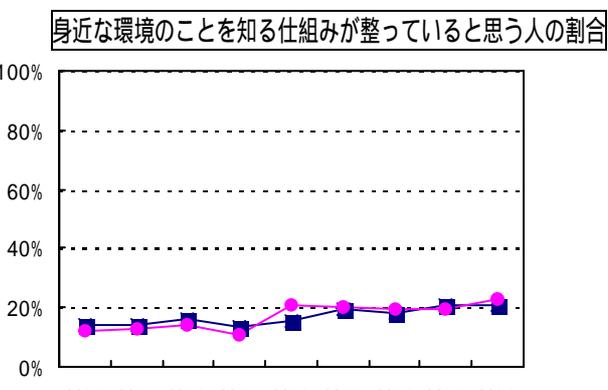
・H14 比 10 ポイントアップ。全県比 8 ポイント高い。



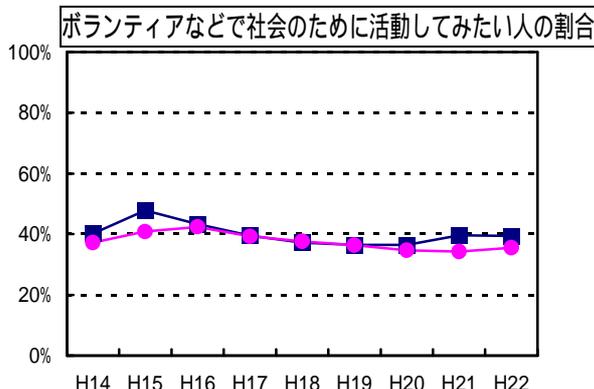
・H18 比 4 ポイントアップ。上昇傾向



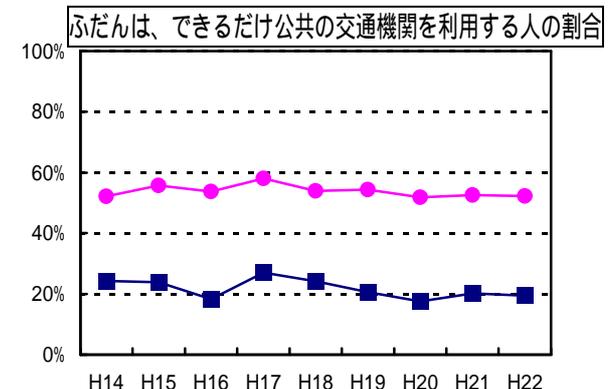
・H18 比 11 ポイントダウン。全県比 8 ポイント高い。



・H18 比 4 ポイントアップ。割合が低い：21%



・横ばい傾向。全県比 4 ポイント高い。



・全県よりかなり低調。重要な地域課題

3 地域ビジョン策定後の時代潮流の変化

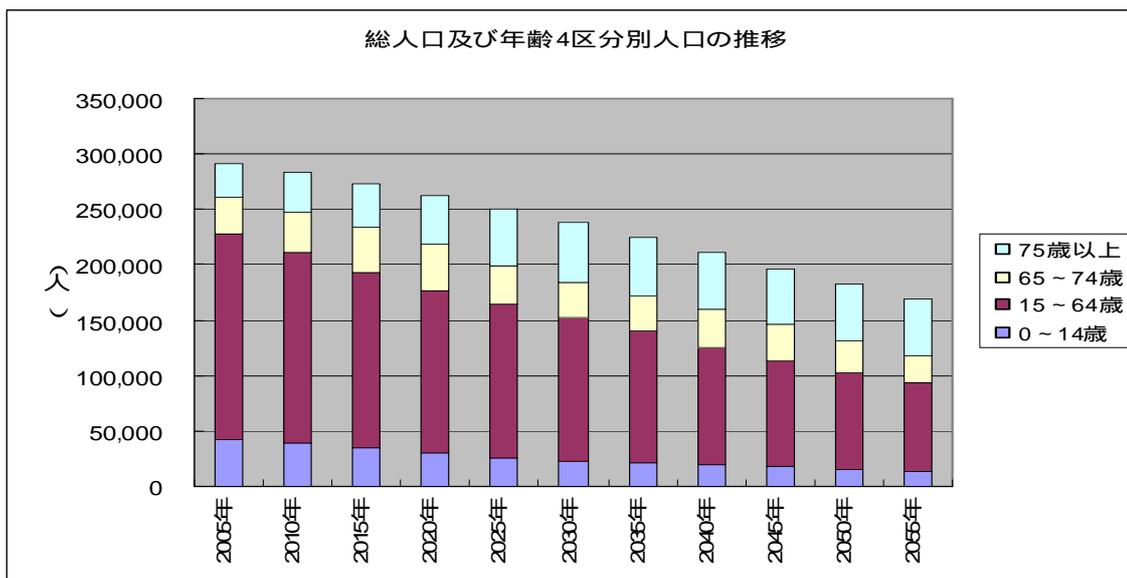
(1) 人口減少・少子高齢化社会の到来

近年の医療の進歩により平均寿命が大幅に伸びてきている一方で、新生児数は、減少傾向が続いているなど、少子高齢化が世界に例を見ないスピードで進んでいます。

ビジョン策定後の時代潮流の調査研究では、人口減少がより急激に進む可能性があることが明らかになっており、時代潮流の変化を的確に把握し、対応していくことが必要です。

人口

北播磨の人口は、すでに減少局面に転じています。30年後の2040年には、現在の25%減の21万1千人になると推計されています。

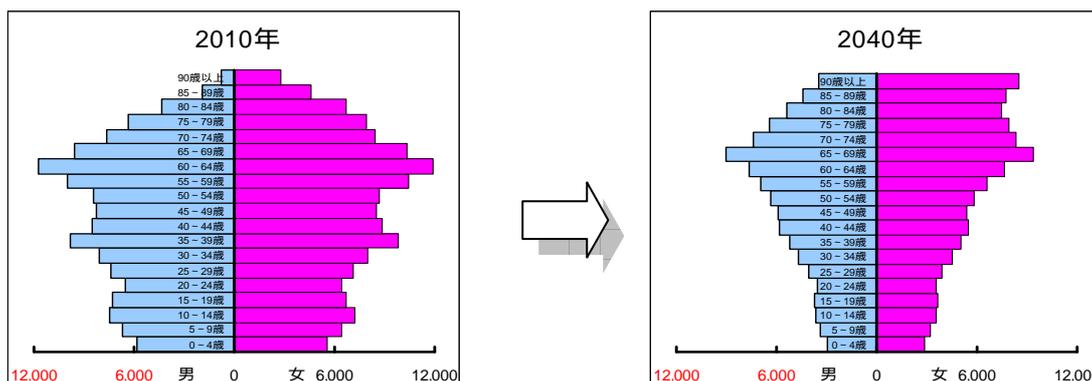


	2000年	2010年	対2000年	2040年(推計)	対2010年
北播磨	298千人	283千人	15千人(5%)	211千人	72千人(25%)
全県	5,550千人	5,589千人	39千人(1%)	4,688千人	901千人(16%)

人口構成

少子化のさらなる進展や医療の進歩により、現在の釣鐘型から壺型に移行することが見込まれています。

高齢者を支えていかなければならない若者が激減する傾向にある一方で、地域活動の担い手として期待できる高齢者が増加傾向にあるという見方もできます。



世帯数

人口が減少に転じても、単独・夫婦世帯の増加等により世帯規模が縮小するため、当面は世帯数が増加する傾向にあります。

北播磨は、全県に比べて多世代同居が多い傾向にあるため、世帯数の増加割合は全県に比べて少ない傾向にあります。

	2000年	2010年	対2000年
北播磨	90,125世帯	97,870世帯	7,745世帯(9%)
全県	2,040,709世帯	2,345,254世帯	304,545世帯(15%)

合計特殊出生率

北播磨の2005年の合計特殊出生率は、1.33で、全県の1.25を上回っています。5年間で0.16ポイント減少しており、減少率は全県より2%高い状況です。

総人口が減少局面に入ること自体は避けられませんが、出生率が上がることで減少の程度は大きく緩和されます。

	2000年	2005年	対2000年
北播磨	1.49	1.33	0.16(11%)
全県	1.38	1.25	0.13(9%)

高齢化率

北播磨、全県とも高齢化率が急増傾向にあり、この傾向は今後も継続する見込みです。

	2000年	2010年	対2000年	2040年(推計)
北播磨	18.4	24.8	6.4(35%)	40.6
全県	16.4	22.4	6.0(37%)	38.1

一人暮らし高齢者比率

多世代同居が比較的多い北播磨は、全県に比べ低い傾向にありますが、今後、急増することが見込まれます。

	2000年	2010年	対2000年
北播磨	6.8	9.1	2.3(34%)
全県	10.4	17.5	7.1(68%)

(2) 価値観の多様化

20世紀に私たちは高度成長により物質的豊かさを手に入れましたが、同時に環境破壊やゆとりの犠牲などの問題を生みだしてきました。21世紀に入り、「物の豊かさ」よりも「心の豊かさ・ゆとりある生活」を今後の生活の重点と考える人が増加しています。

さらに、近年、個人のライフスタイルを重視する傾向が見られ、社会への貢献意識、健康・安全安心志向、未婚化・晩婚化なども進んでいます。

項目	現況等
心の豊かさ志向	・“物の豊かさ”よりも“心の豊かさ・ゆとりある生活”を重視する傾向
社会への貢献意識	・社会のために役立ちたいと思う人々が増加傾向
未婚化・晩婚化	・初婚の高年齢化、生涯未婚率の上昇
健康・安全安心志向	・継続的な運動・食物へのこだわり等の意識が向上
環境優先志向	・ごみ対策、エコ、自然保護に対する意識が向上
ワークライフバランス	・仕事と生活の調和を重視する人々が増加傾向 ・食や農に親しむ暮らし方、二地域居住の広がり、第一次産業への期待増
地域コミュニティ低下	・“集う”ことを嫌がる人が増加傾向、人口減少・少子高齢化、世帯の縮小、価値観の多様化に伴う地域のつながりの希薄化

(3) 地域の変化

項目	現況等
市町合併	・4市8町 5市1町：生活圏域に応じた行政区の拡大、行政の効率化・スリム化
行財政構造改革	・行財政全般をゼロベースで見直し ・地域資源を最大限活用し、“つくる”から“つかう”への取組を展開
平成16年水害 災害の多発	・地域住民の防災意識が向上 ・参画と協働を基調とした防災体制が整備
鳥インフルエンザ	・新たな感染症対策など課題が発生
公共交通の乗車 人数減少	・モータリゼーションの進展、鉄道の利用人数減少 ・加古川線電化による沿線地域のポテンシャルが向上
小規模集落の増加	・集落維持機能の減退
経済雇用情勢悪化	・雇用の悪化、少ない若者に魅力のある企業 ・非正規雇用の割合が拡大し、正規雇用との所得等の格差が拡大
地場産業の環境悪化	・国内消費の低迷、海外からの輸入品との競合
旧市街地の空洞化	・中心市街地や商店街機能の衰退
農林業の情勢悪化	・生産額の減少、農林業経営体の減少、従事者の高齢化、耕地面積の減少
環境の変化	・気候変動（地球温暖化）に伴うと思われる自然災害の甚大化 ・生物多様性への脅威
高度情報化	・インターネット・携帯電話の普及、新たな情報メディアの可能性 ・情報過多による弊害の発生（犯罪、青少年育成への悪影響）
科学技術の進歩	・バイオテクノロジーをはじめとする科学技術の進歩により暮らしが変化
国際化の進展	・グローバル化、国際交流が活発化

(4) これまでの北播磨の道のり

年 度	主な施設・行事等
1 3	<ul style="list-style-type: none"> ・北播磨県民局がスタート ・北播磨地域ビジョン委員会が発足 ・「吉川温泉よかたん」(吉川町)オープン ・家電4品目リサイクル拠点「(株)松下エコテクノロジーセンター」(社町)オープン
1 4	<ul style="list-style-type: none"> ・県立農林水産技術総合センタースタート ・北播磨地域21世紀記念事業「ひょうごどまん中 ハートランドフェスタ2002」が開催 ・北播磨交流の祭典構想検討委員会設置 ・北播磨交流の祭典推進協議会設立 ・「北はりま田園空間博物館」(西脇市)オープン ・「ひまわりの丘公園」(小野市)オープン ・自然体験型の交流施設が次々誕生 「ネイチャーパークかさがた」 「プライベートンオオヤ」 「クラインガルテン岩座神」(八千代町)
1 5	<ul style="list-style-type: none"> ・北播磨への交流人口1,000万人を突破 ・北播磨交流の祭典計画検討委員会設置 ・都市と農山村の交流施設が次々とオープン 「県立なか・やちよの森公園」(中町・八千代町) 「すみよし桃源郷」(西脇市) 「ジェラテリア ふれっしゅあぐり館」(加美町) 「なごみの里 山都」(八千代町) 「白雲谷温泉ゆぴか」(小野市)オープン
1 6	<ul style="list-style-type: none"> ・県立広域防災センター供用開始 ・JR加古川線電化開業、横尾忠則氏デザインのラッピング電車「見る見る速い」 ・「山田錦の館」(吉川町)オープン
1 7	<ul style="list-style-type: none"> ・北播磨交流の祭典の開催 ・加古川線等利用促進・沿線地域活性化協議会設立 ・「三木総合防災公園」オープン ・JR加古川線電化1周年 横尾忠則氏デザインの新ラッピング電車「銀河の旅」 ・駅前活性化の取組進む「ぷらっときすみの」(小野町駅) 黒田庄駅リニューアルで喫茶と朝市を地元住民が運営開始
1 8	<ul style="list-style-type: none"> ・県民交流広場本格実施 ・まちづくり防犯グループ続々誕生 ・子育て応援ネット 全市町全校区で立ち上げ県民交流広場本格実施 ・加古川河川激甚災害対策など 住民と行政の両輪による防災力の向上進む ・のじぎく兵庫国体開催 ・合併後5市1町スタート
1 9	<ul style="list-style-type: none"> ・神戸・灘区水道筋商店街で「まるごと北はりま展」開催 ～進む「都市と農山村の交流」

	<ul style="list-style-type: none"> ・「列車絵画展」、「沿線ガイド」など JR加古川線利用促進の取り組み広がる ・「北はりま子育てスタートブック」の作成など 子育て支援の取り組みを推進 ・お米甲子園2007優勝など 元気な「農」づくりを推進 ・小学3年生の環境体験事業など 環境学習・環境教育を本格展開 ・「ビーンズドーム」(三木総合防災公園)オープン ・播州織アンテナショップ神戸にオープン
20	<ul style="list-style-type: none"> ・北はりまステーションオープン、神戸市御影市場旨水館での「北播磨食フェア」の開催など、まち・むら交流の取組進む ・兵庫県大型観光交流キャンペーンイベントの推進「播磨の国宝巡りツアー」 ・姫路菓子博での播州織ファッションショーや「じばさん元気市」「地才地創シンポジウム in 北播磨」の開催など北播磨の魅力発信の取り組み進む ・「ひょうご家庭応援県民運動」の推進提唱や「北はりま子育て応援ネット活動事例集」の作成、配布など家庭・家族を支える取り組み進む ・こころ豊かな美しい北播磨会議で「防災力強化県民運動」の推進提唱など安全・安心な北播磨づくり進む ・「地球温暖化防止フォーラム in 北播磨」やため池ふれあいイベントの開催、「企業の森づくり」が2地区でスタートするなど環境を考える取り組み進む ・「ラベンダーパーク多可」(多可町)オープン ・「イオン加西北条ショッピングセンター」(加西市)オープン
21	<ul style="list-style-type: none"> ・家族・生活(暮らし)・地域の「絆」を深める「北はりま絆プロジェクト」スタート ・ごみ2割減量“北はりま”大作戦スタート ・JR加古川線電化開業5周年 西脇市駅で記念セレモニー ・土づくりセンター「ゆめあぐり西脇」オープンなど 元気な農づくり進む ・魅力ある地域産業を発信 「山田錦フェア」や「播州織ファッションショー」が大盛況
22	<ul style="list-style-type: none"> ・北播磨魅力発信「ハートにぐっと北播磨キャンペーン」-「みどりの愛護のつどい」「全国ハーブサミット小野大会の開催にあわせ『北はりま「花」と「みどり」の交流キャンペーン』の実施 ・「北播磨出合いサポートセンター」オープン ・重春橋・JR橋梁完成 加古川河川激甚災害対策完了へ ・「ハートにぐるっと!北播磨巻き寿司街道」大盛況 ~巻き寿司コンテスト入賞巻き寿司の販売も始まる~ ・三洋電機(株)加西グリーンエナジーパークがグランドオープン ・地域環境を支える「水のネットワーク」活用へ 「水がつなく人と地域、疏水が結ぶ今昔」をテーマに疏水フォーラム開催 「田んぼのいきもの復活事業」-水田魚道を設置、地域の子どもたちを中心に「いきもの調査」や「環境学習会」を実施 ・拡大する深刻なシカ被害に対し、捕獲・防除・利活用の総合的な対策を推進

4 北播磨の新たな地域課題

(1) 時代潮流の変化による新たな地域課題

想定を上回る人口減少、それに伴う社会の変化など、北播磨が大きく変化する中で、地域ビジョン委員会での議論、地域夢会議や地域団体へのヒアリング・アンケートなどから、新たな課題が明らかとなってきました。

課 題	概 要
地域コミュニティの再生	<ul style="list-style-type: none"> ・比較的「絆」が強い北播磨においても人口減少社会の到来に伴い地域コミュニティは希薄化傾向にあります。「家族の絆」「地域の絆」「生活（くらし）の絆」を深める継続した取組が求められます。 ・少子高齢化社会の進展の中で、「絆」を活かし、子どもや一人暮らし高齢者を地域で見守る取組が求められます。 ・こうした取組を進めるためには、増加する元気な高齢者の参画を促進し、地域を見守り、育てていく多様な人材を育成・確保していくことが求められます。
安全・安心の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・平成16年水害を教訓に、三木総合防災公園等を活用しながら、さらなる危機管理の徹底、防災意識の普及が求められます。 ・医師等の地域医療の担い手が不足する中での地域医療の確保や防犯に向けた取組を的確に行うなど、住みやすさが実感できるような生活環境を整備することが求められます。
芸術文化の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の文化力の向上と住民の心豊かな暮らしを維持していくため、北播磨で伝承されてきた伝統芸能の継承、芸術文化の振興・県民への普及が求められます。
地場産業の活性化 (播州織、金物、そろばん)	<ul style="list-style-type: none"> ・北播磨の伝統的な地場産業の継承、若い人々の知恵を活用した競争力強化が求められます。
中心市街地、商店街の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・市町合併などにより衰退しつつある旧中心市街地や商店街は、新たに交流や生活・文化サービス拠点として活性化を図ることが求められます。
小規模集落の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少の中で、小規模集落が増えていく傾向にあり、その活力維持の道筋を探る必要があります。 ・小規模集落の増加防止、活力維持に向け、各集落がそれぞれの地域資源を活かしながら特徴ある取組を進めていく必要があります。

若者の働く場の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・北播磨の若者は、地元へ愛着があるものの、事情により就職時に地元へ帰れない場合が比較的多い。若者に魅力ある働く場を確保し、地元への定着を図ることが求められます。
豊かな自然環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・北播磨の貴重な自然を保全するとともに、循環型社会を目指すことが求められます。
第一次産業の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・県の食料供給基地として、生き生きと生産を行いながら、一定の所得を確保するとともに、後継者の確保、放棄地の解消、第六次産業化など強い農林業の創造が求められます。
都市との交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・価値観の多様化により、都市住民の食や農に親しむライフスタイルへのニーズが増加しています。北播磨の神戸、大阪などの大都市に近い立地を活かし、さらに都市部との交流を進めることを通して、地域の活性化を図ることが求められます。
公共交通機関の利用促進 (鉄道・バス)	<ul style="list-style-type: none"> ・北播磨の貴重な交通基盤である公共交通機関を守り続けるため、交流や生活手段としての利用を促進し、沿線地域の活性化を図ることが求められます。

5 北播磨地域の将来像

(1) 見直しの視点

想定を上回る少子高齢化、価値観の多様化、地域の変化、地域づくり活動を通じて明らかになった新たな課題に的確に対応するため、北播磨地域ビジョン委員会では、北播磨地域ビジョンをどのような視点で点検・見直しを行うかについて検討を重ね、以下の2点を踏まえることとしました。

加古川流域で育まれてきた共通の生活文化に思いをはせ、連携を深めながら、北播磨の魅力ある地域資源、構造、交通、気候、風土などを十分活かし、「北播磨らしさ」を発揮させる。

すべての地域住民が将来像・目標を共有し、その達成に向け、活動を推進していくために、様々な主体の取組を促す地域づくりの指針とする。

取組にあたっては、これら時代潮流の変化を単に「マイナス」として受け止めるのではなく、発想の転換により、この変化を「プラス」として活用していく視点が重要です。

各団体がそれぞれ単独で活動するだけでなく、個人やグループ・団体が協働することで、新たな取組を創造する試みも必要です。

(2) 対象地域と目標時期

ビジョンの対象地域は、北播磨県民局管内の5市1町とします。

また、目標時期については、2040年頃を展望しつつ、新しい世紀に生まれた世代が社会参加しはじめる2020年頃を想定しています。

(3) 将来像

「ひょうごのハートランド」

【取組方向】

交流と絆づくり

大都市との近郊性を活かし、まちむら交流や地域間交流を促進するとともに、人と人の絆、地域の絆を深める。

多核連携型地域づくり

歴史や文化、豊かな自然、都市基盤など各市町のユニークさを活かし、結び合う地域づくりを進める。

県民総参加の北播磨づくり

誰もが北播磨づくりに参画する。

北播磨地域ビジョンでは、地域にかかわる人々が夢を持って元気にきらめいている姿、北播磨地域を構成するそれぞれのまちが魅力にあふれている姿、そして、ひとやまちが支え合うことでそれぞれの力を高めあう姿を、一人ひとりが自由にイメージするための言葉として、「ひょうごのハートランド」が提案されました。

一人ひとりが主人公になり、自分のライフスタイルを大切に、必要なものや本当のゆたかさを自由に選択しながら、まわりの人とささえあい、つながり、だれもが自分の夢をかなえていく。

この視点は、ビジョン策定から10年を経過した現在でも変わるものではありません。

ビジョン策定から10年間、地域で愛されてきた「ひょうごのハートランド」を合い言葉に、「交流と絆づくり」「多核連携型地域づくり」「県民総参加の北播磨づくり」を進めることが、さまざまな個性が光り輝く北播磨を創造する力になるのではないのでしょうか。

ハートランドとは、

中原の地 中央の地、豊かな地

動と静の交わる場所 - 心臓 - 交通と文化が交わる地域

志(こころざし)の集まる地域 能動的な営みと夢や願いを持った人が集まる地域

北播磨地域ビジョン 2020

【将来像】 ひょうごのハートランド

(取組方向)

交流と絆づくり

多核連携型地域づくり

県民総参加の北播磨づくり

【見直しの視点】

北播磨の魅力ある地域資源を十分活かし、「北播磨らしさ」を発揮させる。

県民、団体・グループ、行政など様々な主体の取組を促す地域づくりの指針とする。

【対象地域と目標時期】

対象地域 北播磨地域

目標時期 2040年頃を展望しつつ、2020年頃を想定

(4) 5つの地域像

北播磨が厳しい状況に直面している中、地域ビジョンを達成するためには、できるだけたくさんの地域住民にめざすべき将来像やそれに向けた取組についてご理解、共有いただき、活動を進めていくことが重要です。そのためには、地域ビジョンが具体的で行動につながるものでなければなりません。

新しい地域課題を克服するために、地域住民一丸となってめざしていく地域像を、その行動が広がっていくように、「交流が広がる」「生活(暮らし)の絆が深まる」「文化が花開く」「環境が持続する」「元気な産業が興る」の5つに再構築することとしました。

なお、以下に示す具体的な地域像については、地域夢会議や地域団体へのヒアリング・アンケートを通じ、多くの幅広い方々からいただいたご意見をもとに、地域ビジョン委員会での検討により取りまとめたものです。

【北播磨地域ビジョン】	【北播磨地域ビジョン 2020】
1 だれにも“心地いい”ハートランド	1 交流が広がる
2 いつも“楽しい”ハートランド	2 生活(暮らし)の絆が深まる
3 いつまでも“美しい”ハートランド	3 文化が花開く
4 どこよりも“力強い”ハートランド	4 恵み豊かな環境が持続する
	5 元気な産業が興る

地域像 1 交流が広がる

「まちむら交流」で活力を育む地域

交流資源を全面に押し出し、その価値の再評価、質の向上により、都市・地域間の交流人口が拡大し続け、地域は元気であふれています。

- ・北播磨の豊かな地域資源を求めて、都市住民が北播磨と都市を活発に行き来しています。
- ・若年・団塊世代の北播磨への二地域住居、UJイターンが定着しています。
- ・都市住民や企業の協力を得て、地域活性化や課題の解決が着実に進んでいます。
- ・活力ある地域住民により北播磨の新たな地域資源が次々と創造されています。
- ・北播磨の魅力を発信し続け、北播磨のファンが増加しています。
- ・北播磨地域内のグループ間交流が活発化し、ネットワークが充実しています。
- ・JR 加古川線、神戸電鉄粟生線、北条鉄道、バスの公共交通や交流施設がいつまでも守られています。

地域像2 生活(くらし)の絆が深まる

家族・地域・生活(くらし)の絆を深めるとともに、絆の力で安全・安心を支える地域

「家族の絆」「地域の絆」「生活(くらし)の絆」がますます深まり、だれもが安全・安心に満ちた生活を過ごせています。

地域に潜在する専門知識・技術を有する人材のネットワーク化が図れ、北播磨の未来を担う人づくりが推進されています。

地域の絆の力を活用し、一人暮らし高齢者・子どもへの地域の声かけ、見守りが行われています。

- ・北播磨にある様々な地域団体がネットワークで結ばれ、活発に連携・情報交換が図られています。
- ・地域づくりのノウハウが伝承されるとともに、元気な高齢者、女性、学生など多様な世代の参画により、北播磨の将来を担う人材が豊富になっています。
- ・空き空間を活用した「気軽に集う場」があちこちにでき、そこで、地域住民が生き生きと三世代交流を楽しむことにより、知恵や技術の伝承、地域コミュニティへの住民意識の向上が図られ、地域で助け合うのが当然のこととなっています。
- ・高齢者見回り隊など高齢者の生活を地域ぐるみで支援する体制が整い、だれにもやさしい街で高齢者が安全安心に暮らせています。
- ・団塊の世代が会社から地域に戻り、活発に地域で活動したり様々な分野で活躍することで、自己実現を図るとともに、地域に元気をもたらしています。
- ・自治会や地域団体が中心になり、子どもを地域の宝として見守り続けることで、若者が地域に戻り、安心して子どもを産み育てています。
- ・子どもたちが知恵や技術を有する高齢者と活発に交流したり、小さいときから地域活動に参画することで、地域愛や豊かな心が育まれています。
- ・地域の中で健康で生き生きとした生活が過ごせています。
- ・高齢化が進む中、医療ニーズの増加に十分応え、高度で充実した医療が提供できています。
- ・要介護者と介護者を支えるサービスが充実しています。
- ・地域住民の防災意識の向上や消防団等との連携により、地域の危機管理能力が年々向上しています。
- ・平常時の防災や災害時の相互支援、災害弱者の確認に地域の絆が活かされています。
- ・地域の強い絆により犯罪のない安全安心な地域であり続けています。
- ・高齢化等を踏まえた交通事故防止対策が適切に講じられるとともに、地域住民への浸透も図られ、安心して地域を移動することができます。
- ・だれもが命の大切さを認識し、行動することで、他人を思いやる大きな輪が拡大しています。

地域像3 文化が花開く

芸術・文化を暮らしに活かす地域

播州歌舞伎などの伝統文化や地域の歴史が子どもたちに継承され、郷土愛に満ちた地域で、音楽・芸術家と支援グループが活躍し、みんなが文化的で質の高い生活を過ごせています。

- ・ 永年伝えられてきた北播磨の伝統文化、祭り、文化財、歴史がいつまでも伝承されています。
- ・ 幼いときから地域の伝統文化や歴史に触れ親しむことにより、地域は郷土愛に満ちています。
- ・ 北播磨の全住民が楽しみにしている北播磨固有の祭りが継続的に行われ、都市住民もこれに参加するなど、楽しさが拡大しています。
- ・ 地域の若者が、空き施設等を活用し音楽や演劇活動、美術の創作を精力的に行うなど、質の高い豊かな生活を過ごせています。
- ・ 地域の音楽・芸術系学校出身者等による入門音楽会や参加型芸術祭が行われ、地域住民に芸術文化の楽しさが拡大しています。

地域像4 恵み豊かな環境が持続する

北播磨が持つ豊かな自然・生態系の調和した暮らしが持続する地域

地域住民の環境意識がますます高まり、自然環境の保全や森づくりへの取組が継続的に行われ、豊かな自然・生態系の調和した暮らしがいつまでも守られています。

- ・ 誰もが北播磨の豊かな自然環境について知識を有し、保全に向けた積極的な活動が行われています。
- ・ シカ、イノシシ、アライグマなど鳥獣の適正な保護管理体制が確立され、農産物や生態系への被害が最小限に抑えられる生息地を保全するなど、生物多様性が確保されています。
- ・ 林業の競争力の強化や森林の持つ多面的機能の確保の観点から、森林の適正な管理が継続して行われるとともに、木材生産地の元気回復が図られています。
- ・ 小水力発電など新エネルギーが積極的に活用されています。
- ・ ごみ適正処理への地域住民の意識改革が図られるとともに、景観美化の取組により、北播磨は美しさに溢れています。
- ・ 市町関係者によるバイオマスタウン構想の取組が広がり、バイオマスエネルギーの利活用が進んでいます。

地域像 5 元気な産業が興る

多様な産業が活性化し、だれもが生きがいを持って働ける地域

地場産業が元気を取り戻し、新産業が創造され、そこで希望に満ちた若者が働いています。

北播磨が食料供給基地としての機能を果たし、地域住民に地産地消が浸透し、元気な農家による食の企業化が推進されています。

- ・ 地場産品の戦略的・効果的な PR や質が高く魅力ある商品の創造により、ブランド知名度が向上し、年々、競争力が強化されています。
- ・ これまで育んできたものづくり文化が地域の若者に伝承されるとともに、若者のアイデアで地場産業に元気が戻ってきています。
- ・ コミュニティビジネスなど北播磨の地域特性を活かした新たな就業の場が地域活動の中から次々と生まれ、意欲ある若者が地域に定着し、生きがいを持って仕事に取り組んでいます。
- ・ 空き店舗が増えていた商店街が、各店舗の意識改革・創意工夫や若手企業家の参入、商店街を活用した絆づくり等の取組により、生まれ変わろうとしています。
- ・ 北播磨が県の食料供給基地としての役割を果たすために、農への高い志を持った若者の参画により、ブランド化や経営形体の強化、農の第6次産業化が図られています。
- ・ 地域住民が手軽に入手できる新鮮な地元産農産物を活用して郷土食を楽しむなど、健康的な食習慣が地域に広がっています。
- ・ 地域の特産物や人材を活かし、各地域の農産加工グループが商品の開発・販売に取り組み、やりがいの創出や地域活性化に役立っています。

北播磨地域ビジョン体系 新旧対照表

【北播磨地域ビジョン】

だれにも“心地いい”ハートランド

- 自立とささえあいによる健康な暮らしを育む地域
- 安心して産み、育てることができる地域
- 生活者の視点にたった安全な地域
- 本当に必要なサービスがだれにも利用しやすい地域
- ささえあいネットワークを育む地域

いつも“楽しい”ハートランド

- 自分発見のゆとりときっかけを持てる地域
- それぞれの生き方を尊重しあう地域
- 自分を生かす舞台が見つかる地域
- 夢ふくらむ子ども世界を築く地域
- 新しい出会いの舞台となる地域
- つたえあいネットワークが広がる地域

いつまでも“美しい”ハートランド

- 自然に触れ、体感できる地域
- 自然を育む循環型ライフスタイルが確立した地域
- 自然が生きる美しい景観が広がる地域
- パートナーシップで新しい知恵を生み出す地域

どこよりも“力強い”ハートランド

- 生活を豊かにする新しいビジネスを生み出す地域
- 人と環境に優しい経済活動の先進地域
- 「ものづくり」再生のモデル地域
- 「交流産業」が新たに展開する地域

【北播磨地域ビジョン 2020】

交流が広がる

「まちむら交流」で活力を育む地域

生活(暮らし)の絆が深まる

家族・地域・生活(暮らし)の絆を深めるとともに、絆の力で安全・安心を支える地域

文化が花開く

芸術・文化を暮らしに活かす地域

恵み豊かな環境が持続する

北播磨が持つ豊かな自然・生態系の調和した暮らしが持続する地域

元気な産業が興る

多様な産業が活性化し、だれもが生きがいを持って働ける地域

6 重点的なプログラムの展開

5つの新しい地域像を実現するために、地域のみなさんと行政が協働して取り組んでいくプログラムの方向性を提案します。

これらは、時代潮流の変化やこれまでの地域づくり活動で明らかになった新たな課題、多くの県民の参画を得て開催した地域夢会議や現場の第一線で活躍する地域団体へのヒアリングやアンケートの意見をもとに、地域ビジョン委員会において、以下の4つの視点を持って、取りまとめを行いました。

住民の意思、地域への“思い”による地域像の実現
 成熟・少子高齢社会の中、地域の絆の力で、全世代で取り組む
 地域資源の活用、持てる価値の発見
 グローバル化の視点

地 域 像	取 組 目 標
<p>地域像 1</p> <p>交流が広がる</p> <p>「まちむら交流」で活力を育む地域をめざします。</p>	<p>目標 1 都市との交流の拡大 自然・観光資源・農地・特産品・文化資源を 活用、企業との連携</p> <p>目標 2 公共交通の利用促進 地域の鉄道・バスを守り、活かす</p>
<p>地域像 2</p> <p>生活（くらし）の絆が深まる</p> <p>家族・地域・生活（くらし）の絆を深めるとともに、絆の力で安全・安心を支える地域をめざします。</p>	<p>目標 3 助け合い・支え合い地域システムの構築</p> <p>目標 4 地域で高齢者見守り</p> <p>目標 5 地域で子育て、未来を担う人づくり</p> <p>目標 6 地域医療、防災、防犯の取組の強化</p> <p>目標 7 命の教育、健康づくりの推進</p>
<p>地域像 3</p> <p>文化が花開く</p> <p>芸術・文化を暮らしに活かす地域をめざします。</p>	<p>目標 8 伝統文化の継承 キッズクラブ結成等により地域愛を育む</p> <p>目標 9 地域の音楽・芸術家と活動支援グループの活性化</p> <p>目標 10 歴史の伝承 みんなが北播磨の「よさ」を知る</p>
<p>地域像 4</p> <p>恵み豊かな環境が持続する</p> <p>北播磨が持つ豊かな自然・生態系の調和した暮らしが持続する地域をめざします。</p>	<p>目標 11 ため池、水田、森の生物が元気に暮らす環境を持続する</p> <p>目標 12 生き生きとした北播磨の森づくり</p> <p>目標 13 環境に負荷をかけない新エネルギーの活用</p> <p>目標 14 ゼロエミッションの推進</p>
<p>地域像 5</p> <p>元気な産業が興る</p> <p>多様な産業が活性化し、だれもが生きがいを持って働ける地域をめざします。</p>	<p>目標 15 地場産業の活性化、地場産品の高付加価値化</p> <p>目標 16 新たな「しごと・働く場」づくり</p> <p>目標 17 未来を拓く「農」づくり</p> <p>目標 18 健康を育む「食」の普及</p>

地域像 1 交流が広がる

「まちむら交流」で活力を育む地域

目標 1 都市との交流の拡大

自然・観光資源・農地・特産品・文化資源を活用、企業との連携

阪神大都市圏との近接性を生かし、北播磨の自然・農地・特産物・文化資源（建造物・遺構・古墳・伝説等）を活用した交流を多彩に展開し、北播磨の活力を育てていきます。

県民局では、北播磨の産物を活用し、地域が元気になる「まちむら交流」を生産加工グループの参画を得て、神戸市や加古川市の商店街を拠点に展開しています。

取組と視点	具体的な取組提案
<p>アクション 1 都市との多彩な交流を展開する。</p> <p>【視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北播磨らしさ（北播磨のアイデンティティ・個性、他では行っていないこと）を活かす。 ・交流は対等で、都市と北播磨地域の両住民に寄与しなければならない。 ・地域の既存施設や組織を活用する。 ・外国との交流、グローバル化を視野に入れる。 ・まずは、都市住民に「知ってもらおう」「北播磨に来てもらう」 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市住民に魅力のある地域資源（北播磨の自然・景観・観光資源・農地・特産品・文化資源・伝統食）を活用した交流イベント・マラソン・ハイキング・山登り・サイクリング・釣り、体験型ツアー（田植え、稲刈り、森林管理）の推進 ・ハーブを北播磨のシンボルにした交流の促進（ラベンダーパーク多可、ひまわりの丘公園、三木鉄道記念公園等） ・「スポーツクラブ 21 ひょうご」など既存の組織を活用した都市部とのスポーツ交流試合の開催 ・保育園、幼稚園、小・中・高等学校の交流を促進（学習のフィールド情報、活動情報、課題等の交換） ・都市部と地域のニーズをマッチングするコーディネート組織の育成・支援 ・二地域居住の PR、雑誌への掲載、モニターの募集など促進策の実施 ・都市住民（北播磨出身者、大学）がふるさとで地域貢献できるしくみを構築（都市住民助っ人隊、鳥獣追い払い隊、美しい景観を守り隊） ・企業との協働による企業研修での北播磨との交流の実施 ・旅行会社との協働による地域資源実感日帰り旅行の企画・実施 ・東播磨、中播磨地域等近隣地域の団体との交流・連携 ・住民レベルでの国際交流の活発化と地域活性化への協働

<p>アクション2 北播磨独自の価値や魅力を創造する。</p> <p>【視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発想の転換により、今までに見捨てられてきたもの、弱みと考えていたもの、気づかなかったものを地域資源として活用する。(生活そのものを、そのままの姿で都市住民に提供するなど) ・都市住民が「行きたい」「欲しい」と思うものの創造・ブランド化を行う。 ・若者の新たな視点を活用する。 ・公園などの既存施設を最大限有効活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・若者などの新たな視点を活かした地域資源の創造・再発見 ・地域を歩いて地域の宝の探索・魅力の再認識 ・特産品の開発・商品化 ・小学校、駐在所、郵便局、JA、商店など地域の財産を守る取組の推進 ・既存施設の有効活用手法の検討・各施設が連携しPR・イベントの実施 ・都市住民、大学生、高校生から価値や魅力向上の意見を募集 ・皆にやさしいユニバーサル社会構築への工夫 ・地域の住環境美化
<p>アクション3 地域の魅力を発信する。</p> <p>【視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北播磨の出身者、ファンなどの都市住民の力を活用する。 ・新たな情報媒体を活用する。 ・地域内の情報交流を積極的に図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民による都市部へ出張アピール隊 ・都市部に住む地域出身者の協力による魅力発信を行う。(口コミ隊、同窓会の活用) ・インターネット等を活用し現在、集落が抱える問題を多くの人々に発信 ・SNSなど新しい情報媒体を活用した情報発信 ・住民がふるさとに愛着と誇りが持てるように、地域の恵み、豊かさを地域住民に知らせる取組の推進
<p>アクション4 若者・団塊世代の都市からのU/Iターンを促進する。</p> <p>【視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比較的自由な若者・仕事を退職した団塊世代をターゲットにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集落への受け入れ体制の整備 ・空き住宅、賃貸住宅情報の提供 ・地元就職情報の提供 ・移住説明会の開催 ・滞在体験ツアー ・移住等支援制度の充実

目標2 公共交通の利用促進

地域の鉄道・バスを守り、活かす

公共交通は、交流を展開するため大切な手段です。モータリゼーションの進展により利用が減少していますが、公共交通は子ども・障害者・高齢者に不可欠な交通手段であり、今後も堅持していく必要があります。さらに、環境にやさしい交通手段として地球温暖化防止の観点からも利用を促進していく必要があります。

取組と視点	具体的な取組提案
<p>アクション1 公共交通を利用しやすい環境を整備する。</p> <p>【視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の足として利用できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パークアンドライド用駐車場の充実 ・地域住民のニーズに応えたダイヤの見直し ・コミュニティバス等による駅へのアクセスの改善 ・企業による社員の公共交通利用促進（勤務時間の弾力的運用、企業から駅までの送迎バス） ・コミュニティバスの充実 ・コミュニティバスの運営形態の見直し（ワゴン車化） ・きめ細かな路線の設定 ・バスのIT活用による時間通知システム等の検討
<p>アクション2 公共交通を活用した地域活性化を図る。</p> <p>【視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅の多目的利用、交流拠点としての活用を図る。 ・鉄道ファンを活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域団体による駅前活性化の推進 ・駅の観光ボランティア拠点など様々な拠点としての活用の促進 ・イベント列車運行による交流・活性化 ・鉄道資源を活用したイベント、仕掛けづくり（北条鉄道の小ザル駅長など）
<p>アクション3 公共交通を守ることへの住民の理解を求める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の経営状況を住民に発信 ・地域の足を考えるシンポジウムの開催 ・住民への利用促進キャンペーンの実施

地域像2 生活(くらし)の絆が深まる

家族・地域・生活(くらし)の絆を深めるとともに、絆の力で安全・安心を支える地域

目標3 助け合い・支え合い地域システムの構築

地域づくりや産業活動における専門知識・技術を有する人材の発掘、ネットワークを形成し、絆の深化に活用していきます。

また、北播磨地域を発展させるためには、地域の特色を熟知し、誇りや愛着を持った人材を養成していくことが重要です。このため、地域に関する知識やノウハウを持った高齢者等の協力を得て、人づくりを進めていきます。

取組と視点	具体的な取組提案
<p>アクション1 人材ネットワークを構築する。</p> <p>【視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学、企業と地域団体、行政の協働など、新たな連携を構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域団体間ネットワーク構築に向けた中間支援団体の育成・支援 ・北播磨内の NPO、住民グループ、高校生・大学生との交流を促進し、連携・情報交換を行う。 ・地域団体と大学、企業とのコラボによるまちづくりの推進 ・地域団体間をつなぐ情報化の推進
<p>アクション2 技術を有する人材を発掘するとともに、活動人材を育成する。</p> <p>【視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者や今後、人材増が見込まれる元気な高齢者の参画を重視する。 ・高齢者など知恵と技術を有する人材を発掘する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域人材を発掘し、専門知識や技術を集約・活用する「シンクタンク」の創設 ・高齢者から若者への地域づくりノウハウの伝承、高齢者の知恵、技術の伝承ネットワークの構築 ・若い地域づくりリーダーの養成 ・ボランティア養成、スキルアップ講座の開催 ・学童期から地域コミュニティや社会参加意識を持たせる教育プログラムの実施 ・地域団体に後継者育成を推進 ・学生を活用した地域への住み込み型インターンを検討、実施
<p>アクション3 地域のつながりを再生する。</p> <p>【視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多世代の交流機会を増加する。 ・県民交流広場など既存のしくみ、廃校などの施設を最大限活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な世代が気楽に集える場の提供（地域の縁側（談笑の場）、地域団欒の場、井戸端会議、寺子屋、コミュニティレストラン、公民館） ・各自治会で新たな取組を行い、地域を“変え”、みんなが知り合いになれるきっかけを作る。 ・今の時代に合った地域コミュニティのあり方の検討 ・「みんなの声かけ運動」への参加促進 ・三世同居、地域三世交流による住民意識の伝承、

	<p>人との出会いの大切さ、楽しさ、うれしさの普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の皆（多世代）で未来や地域課題について話し合う機会を設ける。 ・地域内で、気を遣わず、当たり前に関わり合える地域になるよう、日常的な近所つきあいを深める取組を推進 ・子ども会、青年団、婦人会、老人会活動の活性化に向けた取組を推進 ・自治会等が地域行事への積極的な参加を呼びかけ ・地域の情報交換を密にする。 ・「家庭」の持つ価値を見直し、大切にしている取組を推進 ・「近所の人を気にかける」運動
<p>アクション4 地域団体の活動を支援する。</p> <p>【視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動資金の調達に向けた新たなしくみを検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ基金の創設など地域団体の活動資金の確保 ・行政の地域団体への支援の継続
<p>アクション5 地域住民の地域活動への参画を促進する。</p> <p>【視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きっかけづくりと地域の人々が自由に使える時間を拡大する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアへの参画の促進、重要性、楽しさの普及 ・女性・高校・大学生、元気な高齢者の地域づくりへの誘導 ・ボランティア休暇の利用促進 ・ワークライフバランスの重要性をPR、普及 ・住民の意識改革に向け、地域活動内容を積極的に情報発信

目標4 地域で高齢者見守り

高齢化が急激に進展していくため、ひとり暮らし高齢者への声掛け、見回り、利便性の確保など、地域全体で高齢者を支えるしくみづくりを進めるとともに、高齢者が生きがいや楽しみを持って暮らしていけるように、高齢者の交流・活躍の場を設けていくことが求められます。

取組と視点	具体的な取組提案
<p>アクション1 高齢者を地域ぐるみで応援する。</p> <p>【視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者、元気な高齢者が積極的に関わるしくみをつくる。 ・まずは、近所の人を知る取組をおこなう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者見回り隊（訪問・庭掃除）活動の実施 ・高齢者声かけ運動の推進 ・老人会と自治会との交流の推進 ・高齢者が楽しく気楽に集える場の提供（地域の縁側（談笑の場）、地域団欒の場、井戸端会議） ・地域同世代による高齢者支え合い交流の促進（近所の“友だち”づくりへの支援） ・高齢者のよろず相談所の設置（電球の付け替え等）

	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者向け移動販売体制・コンビニの整備 ・高齢者向け宅配サービスの充実 ・高齢者の安心に対応したまちづくり(ユニバーサル社会) ・ITを活用した助け合い・支え合い地域システムの構築 ・デジタルシニア(インターネットやデジタル機器を自在に使いこなす60歳以上の活動的なシニア)による情報化の推進、「シニアネット」による仲間作り ・ボランティアチケット制度の導入による助け合いシステムの推進
<p>アクション2 ひとり暮らしや身体機能が低下した高齢者の見守りシステムを整備する。</p> <p>【視点】 ・最新技術を活用する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢世帯用自動通報システム、ガスメーター等ICT(情報通信技術)機器を活用した高齢者見守りサービス事業の整備 ・サービスの提供体制の充実(24時間訪問、LSA(生活援助員)) ・介護する人材の確保 ・自治会や民生委員と連携した高齢者等の要援護者見守り支援体制の構築
<p>アクション3 高齢者の生きがい、充実感、楽しみを創造する。</p> <p>【視点】 ・元気な高齢者が積極的に参画できる場を提供する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・元気な高齢者の地域活動への参画の推進、活躍の場づくり ・高齢者大学など学びの場の提供 ・高齢者への新たな楽しみの提供(ジャズダンス、カラオケなど) ・一人暮らし高齢者への交流の場への参画促進 ・集落ごとのビジョンの検討・実施による活性化
<p>アクション4 高齢者向け情報を発信する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・支援情報、地域活動情報の発信

目標5 地域で子育て、未来を担う人づくり

若い親子を孤立させることなく、多くの住民が子どもに関わり、地域の中で安心して子育てを行えるとともに、地域の大人が見守る中で、子どもがのびのびと遊び、地域の良さを伝承していける体制をつくっていきます。

取組と視点	具体的な取組提案
<p>アクション1 子育てを地域ぐるみで応援する。</p> <p>【視点】 ・消防団、自治会、企業等を活用する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会による預かり育児など多くの子どもを産み育てようと思えるような取組(女性の仕事、余暇、家事の時間の確保にも寄与) ・地域の子どもを地域すべての親の視線で見守る「地域の親運動」の展開 ・母親への子育てサークル・講座の開催 ・異年齢児交流による遊び・学びの創造

	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを預けたい人すべてが保育所を利用できるよう保育所のあり方の再検討（母親の社会参加の促進、子ども虐待の防止） ・区民子ども運動会など皆が集う楽しいイベントの開催 ・三軒両隣の絆による子どもの虐待防止 ・結婚願望のあるまじめな若者に異性と付き合う機会を提供 ・地域の小中学校行事への参画 ・企業への子どもの研修受け入れ
<p>アクション2 子どもへの教育を充実する。</p> <p>【視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国、家族、地域を愛し、ボランティアに意識が向くような教育の充実 ・高齢者の知恵を若者へ伝承するネットワークの構築 ・三世代、地域団体を結びつける事業（寺子屋・地域子育て）の推進 ・小学生のボランティアへの参画の促進（地域資源の理解、地域を愛する心の育成、高齢者等との交流の促進） ・子どものまちづくりへの参画促進 ・地域ビジョンの理解、地域夢会議への参加促進 ・公園、スポーツ施設等を守る。 ・子どもを教育する前に親へ教育する。
<p>アクション3 子育て情報を発信する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リアルタイムでの支援情報、地域活動情報の発信

目標6 地域医療、防災、防犯の取組の強化

地域医療については、住民が一体となった取り組みが地域医療を支えていく大きな原動力になることから、既に西脇市で取り組まれているように、地域医療を守るグループと連携を図りながら、地域全体に広がる取組とすることが重要です。

防災については、異常気象による突発的な豪雨など、地域全体で日頃の災害に対する備えを構築しておく必要があります。

防犯については、農村部でも都市型犯罪が発生していることから、地域が主体となり、交通安全・振り込み詐欺を含めた防犯対策を進めていく必要があります。

取組と視点	具体的な取組提案
<p>アクション1 地域医療を守る。</p> <p>【視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域団体、行政、住民の一体となった取組を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関の医師等確保・診療支援 ・地域医療の充実 ・小児救急医療に対する正しい知識の普及啓発 ・公立・公的病院間等の病病連携、病診連携の推進

<p>アクション2 地域の防災力を強化する。</p> <p>【視点】 ・県下有数の充足率を誇る消防団が中心となり地域をまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害に対する備えの構築 ・地域防災ネットワークの的確な活用に向けた取組 ・災害時のボランティアとの連携体制の整備 ・消防団、自主防災組織の連携強化 ・広域防災訓練の継続実施
<p>アクション3 安心して暮らせる防犯力を強化する。</p> <p>【視点】 ・地域みんなの目で犯罪を未然に防ぐ取組を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個人や家族でできる防犯活動のPR・普及 ・地域ぐるみの防犯活動、見回り隊の継続 ・高齢者の交通事故防止対策の推進（高齢者の運転のあり方を検討）

目標7 命の教育、健康づくりの推進

児童虐待等「命」の大切さを阻害している事件が多発しています。北播磨地域ビジョン委員会は、中学生を中心に「心肺蘇生法」を活用した「命の教育」を推進しており、今後も様々な手段や機会を設け、一層推進していきます。

健康づくりについては、地域住民一人ひとりが自らの生活を見つめ直し、生活習慣を改善するとともに、個々人の健康づくりを社会全体で支援する取組が必要です。

取組と視点	具体的な取組提案
<p>アクション1 「命の教育」の講演と心肺蘇生法やAEDの実技講習会を普及する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動を地域の各年代層に浸透させる。 ・効果的な普及方法、手段の検討 ・指導者の育成、活動への参画促進
<p>アクション2 健康で生き生きとした生活を確保する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりを地域全体で支援するしくみの推進

地域像3 文化が花開く

芸術・文化を暮らしに活かす地域

目標8 伝統文化の継承

キッズクラブ結成等により地域愛を育む

播州歌舞伎や無形文化財など北播磨の伝統文化や郷土の歴史を後世に伝え、北播磨らしさを継承していかなければなりません。特に、伝統文化の継承は後継者づくりが急務であり、地域主体の取組を推進しなければなりません。

取組と視点	具体的な取組提案
<p>アクション1 伝統文化を受け継ぐ。</p> <p>【視点】</p> <ul style="list-style-type: none">・子どもに興味を持たせる。・伝統文化とふれあう機会を設ける。	<ul style="list-style-type: none">・学校教育等で子どもたちに伝統文化を教育・キッズクラブ結成による伝統文化後継者の確保・地域住民に地域の神社仏閣に興味を持ってもらうセミナー開催等・「むら芝居」など地域の宝の復活・祭りの継承
<p>アクション2 伝統文化を発信する。</p> <p>【視点】</p> <ul style="list-style-type: none">・地域だけでなく都市部へも情報発信する。	<ul style="list-style-type: none">・伝統文化の情報発信・都市部で開催されるイベントへの参加「出張伝統文化」
<p>アクション3 伝統文化を活用したイベントで活性化する。</p> <p>【視点】</p> <ul style="list-style-type: none">・北播磨のアイデンティティを向上する。	<ul style="list-style-type: none">・北播磨の祭りを一堂に集めて開催し、地域間交流を図る。・新しい祭りの創造、継続的な開催による伝統化・文化資産を活かしたガイド付きツアーの開催（歴史ボランティアとタイアップ、子どもの参画、祭り）・北播磨を歴史文化観光地域としてイベント・PR

目標9 地域の音楽・芸術家と活動支援グループの活性化

北播磨は地域に根付いて活動している音楽や芸術系学校の出身者が多く、これらの人々の専門性を活かし、芸術・文化を生かした地域づくりを推進することが文化の普及にとって重要です。また、芸術家の活動の場の提供などを担う活動支援グループづくりも不可欠です。

取組と視点	具体的な取組提案
<p>アクション1 芸術・文化活動を支援する。</p> <p>【視点】 ・既存施設等を活用する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・空き校舎等を活かした若者が音楽・演劇の練習・美術の創作を行える芸術文化拠点の整備 ・既存施設を利用しやすく見直す。 ・北播磨の文化団体間の交流促進、活動の活発化
<p>アクション2 芸術・文化活動を発信する。</p> <p>【視点】 ・芸術文化を楽しむ人の裾野を広げる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや若者が芸術を楽しみ、体験する機会の提供（入門コンサートなど） ・音楽・演劇などソフト面の充実 ・新たな文化の創造、掘り起こし
<p>アクション3 芸術・文化を活用したイベントで活性化する。</p> <p>【視点】 ・地域の人材を活用する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を題材とした「北播磨芸術祭ピエンナーレ（美術展覧会）」の開催 ・地域の音楽専門家（音楽大学出身者等）の芸術文化振興への参画 ・「芸術を体感する観光」の展開

目標10 歴史の伝承

みんなが北播磨の「よさ」を知る

郷土の歴史の伝承には、郷土史家やのボランティアガイド等地域住民の活用も重要なポイントとなります。併せて、日常体験の中で、伝統文化や郷土の歴史を学び、地域のよさをみんなが知る仕掛けも重要です。

取組と視点	具体的な取組提案
<p>アクション1 地域の歴史を受け継ぐ。</p> <p>【視点】 ・地域の歴史を知ること、地域への誇り・地域愛を持たせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちへの歴史の伝承による地域愛の創造（子どもを対象とした地域の歴史・文化の調査・見学体験の実施） ・地域住民に地域の歴史に興味を持ってもらうセミナー開催等 ・学校教育等で子どもたちに地域の歴史を教育
<p>アクション2 地域の歴史を発信する。</p> <p>【視点】 ・ボランティアガイドと協働した取組を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民や都市住民を対象とした地域歴史セミナーの開催 ・地域住民による地域の歴史年表、書物の制作・配布

地域像 4 恵み豊かな環境が持続する

北播磨が持つ豊かな自然・生態系の調和した暮らしが持続する地域

目標 11 ため池、水田、森の生物が元気に暮らす環境を持続する

北播磨の多様な環境で生息する生物を守り、生物の多様性を確保していくため、生物が棲み続けられる環境を持続していく必要があります。

取組と視点	具体的な取組提案
<p>アクション 1 貴重な自然環境を保全し、生物多様性を確保する。</p> <p>【視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近なことからこつこつと行うことが重要である。 住民、自然保護団体、学識研究者、行政の協働により進めていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 北播磨に現存する貴重な動植物の保全 “水田魚道”など生息環境の復活 野生動物保護管理の推進（山の監視人の設置、捕獲後継者育成、シカ肉の利活用推進） 外来種の捕獲・拡大防止体制の整備 住民、自然保護団体、学識研究者、行政の協働 ため池など地域の資源の維持
<p>アクション 2 環境や自然を守る環境教育を推進する。</p> <p>【視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学生を対象に行われている環境教育は効果的である。 	<ul style="list-style-type: none"> まず、地域の自然を知る。 北播磨の自然を活用した環境教育の充実・拡大 自然環境の保護に向けた知識の伝承 子どもたちが地域の自然の中で遊べる環境づくり

目標 12 生き生きとした北播磨の森づくり

エネルギー源の変化や木材価格の低迷により、放置されている森林が多くあります。このことにより突発的な豪雨の際には大きな災害が発生することが危惧されます。災害の発生等を最小限に止めるなど森林の持つ多様な多面的機能を発揮させるためには、森林の管理を継続的に進めていかなければなりません。

取組と視点	具体的な取組提案
<p>アクション 1 森林の適正な管理を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 県民・企業参加の里山づくりの推進 林業の木材搬出コスト削減による競争力強化 公共施設などへの県産材利用の促進 森林の活用、災害に強い森づくりの推進

アクション2 森林の管理手法を伝承する。	・里山の利活用の推進（管理技術の伝承）
アクション3 森林の持つ多面的機能について理解を促進する。	・森林教育の推進 ・森林の持つ多面的機能について情報発信

目標13 環境に負荷をかけない新エネルギーの活用

林地や農地の水路を活用した小水力発電等、新エネルギーづくりに取り組むことが環境への負荷を低減させる地域からの取組として重要です。

取組と視点	具体的な取組提案
アクション1 新エネルギーづくりに取り組む。	・小水力発電の導入について検討 ・新たなエネルギーの活用方策について検討 ・太陽光発電をはじめとした再生可能エネルギーの導入推進

目標14 ゼロエミッションの推進

資源循環を図るため、ごみ減量や廃棄物を出さない製品づくり等にみんなで取り組む必要があります。

取組と視点	具体的な取組提案
アクション1 バイオマス利活用を推進する。 【視点】 ・モデル的に取り組んでみる必要があります。	・森林バイオマスエネルギー利活用の推進 ・バイオマスタウン構想の取組の拡大 ・北播磨菜の花エコ・プロジェクトの推進 ・農のゼロエミッションの推進 ・環境にやさしい素材の大学・企業での研究開発 ・堆肥等有機素材の土壌への活用推進 ・使用済み天ぷら油のリサイクルの普及・回収システムづくり ・稲わら等を活用したバイオエタノールづくりの研究・検討 ・メタンガスエネルギーの活用方策の検討
アクション2 ごみの適正処理を推進する。	・山や川へのごみ投棄の監視強化 ・ごみのポイ捨て等に関する意識改革 ・地域ぐるみの清掃活動の推進 ・各家庭レベルでのごみ減量、エコの推進
アクション3 景観を保全する。	・花と緑による景観づくりの推進 ・美しいむらの保全

地域像5 元気な産業が興る

多様な産業が活性化し、だれもが生きがいを持って働ける地域

目標15 地場産業の活性化、地場産品の高付加価値化

海外製品の台頭等により地場産品の生産・売上げが減少している。新デザインや高付加価値化等、消費者の質へのニーズに応え、活性化していく必要があります。

取組と視点	具体的な取組提案
アクション1 地場産業の競争力を強化する。 【視点】 ・各企業が持つ特色を活かした取組を行う。	<ul style="list-style-type: none">・地場産業分野における多様化・高級化、ブランド化、新しい発想による魅力ある商品の開発（播州織ジーンズなど）・地場産業の海外需要の掘り起こし・海外と競争できる生産体制づくり（小ロット、短納期、競争力強化、差別化）・地場産品イベントの開催・行政等の継続的な支援・地場産業振興に係る販売戦略等の研究
アクション2 地場産業を受け継ぐ。	<ul style="list-style-type: none">・ものづくり文化の伝承（技術教育の振興などによる人材確保・育成）
アクション3 地場産品を発信する。	<ul style="list-style-type: none">・知名度アップに向けた取組の推進（ホームページ、見本市の活用）・かじやの里メッセみきなどを活用し、全地場産品が連携したPRの推進

目標16 新たな「しごと・働く場」づくり

環境とエネルギー分野の連携、農林業ベンチャー〔株式会社〕、コミュニティビジネス〔地域介護、地域喫茶等〕

北播磨の活力を維持していくためには、若者の地域への定着が大切な要素です。そのためには「しごと・働く場」の確保が不可欠です。

かつての経済成長期のような企業誘致等が難しい状況の中、北播磨の資源を活かした農林業ベンチャー、特産品の開発や地域介護等コミュニティビジネス、環境とエネルギー分野の連携による新しい分野開発等に取り組み、「しごと・働く場」を確保していきます。

取組と視点	具体的な取組提案
<p>アクション1 若い人が希望を持てる働く場をつくる。</p> <p>【視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存産業の協働により新たな産業を創造する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地場産業と先端産業の連携 地域特性を活かした新産業の創出（新アイデア、専門性を育てる。人材育成） 地域資源を活用した農商工連携 みんなで就労の場を創造（農業ベンチャー、コミュニティビジネス） 労働時間の多様化による元気な高齢者・女性の仕事への参画の推進 法規制の緩和等による地域の強みを活かした企業誘致の促進（大都市に立地する必要のない産業） 環境関連産業の集積地への誘導 ITを活用した在宅ワークの検討促進 若者・学生起業家への積極的な支援（若者トライアル特区） 海外からの観光客等誘致 中国・韓国等を視野に入れた産業振興ツーリズムの実施
<p>アクション2 商店街を再生、活性化を図る。</p> <p>【視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 商店街で働く若者がリーダーシップを取り、新たな商店街の活用を模索する。 	<ul style="list-style-type: none"> 商店街空き店舗への若者起業家の参入支援 商店街の高齢者の生き甲斐の創出、世代間交流、犯罪対策、買い物難民への救助等への活用の推進 商店街で活性化を図るイベントの開催 商店街の各店舗の意識改革 有名店の商店街への誘致

目標17 未来を拓く「農」づくり

北播磨には、緑豊かな自然環境に恵まれた田園空間の中で、専門教育施設、研究開発機関、農業改良普及センターなどが立地しています。これらが連携することにより、農の発展に貢献する可能性を秘めています。地域の特色を生かした農林産物の生産・加工・販売を進め、農で北播磨の未来を拓きます。

取組と視点	具体的な取組提案
<p>アクション1 元気な「農」をつくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 県立農林水産技術総合センター、播磨農業高校など豊富な研究・教育施設、女性グループ等人材を活かしたアグリビジネス拠点の創造 農産物のブランド化・品質の向上 農地の営農組合、NPO、農協、企業の管理による強い農づくりの推進

	<ul style="list-style-type: none"> ・農の生産・加工・販売拠点の整備による第6次産業化の推進 ・農業を志す若者の参入サポート（セミナー、資金支援等） ・農業の若手リーダーの育成（リーダーを中心とした営農） ・生活が成り立つ農業（農業所得補償など）の普及 ・ため池等の地域全体で管理するシステムの構築 ・放棄田の減少に向けた取組（遊休農地の活用促進） ・小中学生への農業体験イベントの開催 ・学校の授業への農業の導入 ・世代を超えた地域の人々による農業の実施 ・住民への意識改革（農業が置かれた厳しい状況を情報発信） ・農業従事者と企業との交流
--	---

目標 18 健康を育む「食」の普及

農業者や加工グループの経営体制の強化を図り、地域内各所で開催されている「朝市」実施団体等による大規模な野菜市の開催などにより、北播磨の魅力を発信します。

取組と視点	具体的な取組提案
<p>アクション1 地産地消・食育を推進する。</p> <p>【視点】 ・農家と食育に取り組む地域グループの協働を促進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域農業の核となる直売所の整備 ・直売所の連携による大規模野菜市の開催 ・地域ブランド農産物の生産拡大・地域食材を活用するレストランの拡大 ・食と健康を考える機会の提供 ・小中学生等への食育の重要性、取組方法の普及、学校教育への導入 ・北播磨独自の食文化の普及（伝統料理やレシピの提供、料理教室） ・食を通じた都市との田舎料理交流、健康料理交流 ・食を通じた若者から高齢者まで多世代交流の推進 ・地産地消・食育についての県民への積極的な理解促進
<p>アクション2 農産加工グループを育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農産加工グループの育成支援 ・特産品の創造、商品開発への支援 ・特産品を販売する機会の提供、イベントの実施
<p>アクション3 直売所等を連携させた周年供給産地を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域の直売所が連携して、北播磨地域全域の農畜産物や農産加工品等を流通拡大

7 将来像の実現に向けて

(1) 将来像の実現に向けた取組

県民行動プログラムの具体的な検討・実施

新たな地域ビジョンの実現に向け、引き続き北播磨地域ビジョン委員会が中心となり、県民自らが取り組むべきプログラムを検討するとともに、特に先導的な実践活動を地域ビジョン委員会において推進します。

ビジョン活動への県民の参画促進

様々な団体の連携・地域団体間のネットワークづくりを進めるとともに、地域夢会議などを通じ、広く地域ビジョン活動への県民の参画を促進します。

特に、子どもや青年層への参加を促すなど、地域ビジョンの周知・啓発を行います。

(2) フォローアップの必要性

「北播磨地域ビジョン 2020」の目標時期は 2020 年頃を想定していますが、今後も時代潮流は大きく変化していくことが予想されます。また、地域住民の価値観やニーズもますます多様化することから、常に時代の変化に応じた柔軟なフォローアップを行います。

なお、地域ビジョン委員会活動の深化・拡大を図るために、今後、活動のあり方を検討していくこととします。

北播磨地域ビジョン将来像検討会（拡大企画部会）委員名簿 敬称略

正副委員長経験者

役 職	氏 名	摘 要
第1期 地域ビジョン委員長	北 田 重 信	加西市
第1期 地域ビジョン副委員長	井 土 裕 子	三木市
第2期 地域ビジョン委員長	竹 内 宏 企	多可町
第2期 地域ビジョン副委員長	水 島 慶 子	三木市
第3期 地域ビジョン委員長	生 田 頼 夫	西脇市
第3期 地域ビジョン副委員長	福 田 歩	加東市
第4期 地域ビジョン委員長	今 西 美和子	三木市
第4期 地域ビジョン副委員長	大 西 美彌子	多可町
第4期 地域ビジョン副委員長	吉 田 光一郎	西脇市

企画部会員

役職及び所属グループ	氏 名	摘 要
部会長（専門委員：兵庫教育大学大学院准教授）	森 田 啓 之	加東市
委員長(命の教育推進グループリーダー)	神 崎 壽 福	加東市
副委員長(街づくりダイエトリリーダー、歩いて見ようよ北はりまグループ)	藤 原 孝 三	西脇市
副委員長(歩いて見ようよ北はりまグループ)	室 谷 敬 一	三木市
副委員長(北バーン創造委員会リーダー)	松 田 和 也	加西市
副委員長(命の教育推進グループ)	林 本 英 子	多可町
歩いて見ようよ 北はりまリーダー	西 口 嘉 彦	加東市
地域子どもの日リーダー	吉 川 茂	三木市
J R加古川線沿線駅を交流の場リーダー	神 月 紀 一	西脇市
チームあいあい・子ども夢プランリーダー	高 部 千夏子	加東市
よさこいを活かした地域交流リーダー	沼 田 梨 絵	加東市
生活創造グループ・遊友会	荻 野 巧	西脇市
生活創造グループ・花福会	阿 江 玲 子	加東市

北播磨地域ビジョン 2020

“ひょうごのハートランド”をめざして

平成23年11月

北播磨地域ビジョン委員会・兵庫県北播磨県民局

連絡先：兵庫県北播磨県民局 県民生活室 ビジョン課

〒673-1431 兵庫県加東市社字西柿 1075-2

TEL 0795 - 42 - 9513

FAX 0795 - 42 - 7535